

貴族院第八十二回

臨時利得稅法中改正法律案特別委員會議事速記錄第五號

昭和十八年二月二十三日(火曜日)午前十時十四分開會

○委員長(伯爵酒井忠正君) 是ヨリ開會致

○小倉正恒君 チョット大藏大臣ニ伺ヒマス、今回ノ増稅ニ依リマシテ物價乃至生活費ニ幾許ノ影響ヲ齎ス御見込デアルカ、又

之ニ伴ヒマシテ俸給、賃金或ハ農家ノ收入ノ引上ト云フ風ナコトハ相當程度俸給ナリ、

賃金ナリ、農家ノ收入ナドア引上ゲルコト

ガ必要デアルト云フ御見込デアルカドウ

カ、ソレヲ御伺ヒシタイト思ヒマス、私ガ

斯ウ云フコトヲ御伺ヒス理由ハ、今日ノ

社會ノ或階級ニ於キマシテハ大分生活難ガ

深刻ニナツテ居リマス、今回ノ増稅ハ、兎モ

角衣食住ニモ關係致シテ居ルノデアリマス、

又或例外モアリマスルケレドモ、相當低イ

方ニモ影響ヲ及シテ居ルト思フノデアリマ

シテ、社會ノ或面ニハ相當ノ影響ガアルノ

デハナイカト云フ風ニモ思ッテ居ルノデア

リマス、是カラ後ハ一ツ速記ヲ御止メヲ願

ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ始メテ

○國務大臣(賀屋興宣君) 只今小倉サンカ

ラ色々御尤モナ御意見ヲ伺ヒマシタガ、昨

年以來マア其ノ前カラデモゴザイマスル

ガ、増稅案ヲ作りマス時ニハ、其ノ點ニ

於キマシテ最モ注意ヲ拂テ原案ヲ作製スル

コトニ致シタノデゴザイマス、一般ニ租稅論トシマシテ只今政府ガヤツテ居リマス間

接稅ニ付キマシテ、物品稅的方式此ノ方

式ト申シマス意味ノ内容ハ課稅ノ對象タル

物品ガ奢侈的ノ消費デアルカ、或ハ最小限

度ノ生活ニ必要デアルカナイカ、是等ノ點

ニ付キマシテ最モ多クノ注意ヲ拂ヒ、課稅

所謂課稅ノ最低限度ノ金額、ソレ以下ハ免

稅トナリマスル金額ヲ定メルノデアリマス、

或ハ稅率ヲ盛リマスル上ニ於テ、即チ戰時下

不必要ト云フ性質ノモノニハ高率ノモノ

ヲ掛ケマス、然ラザルモノニハ掛ケナイカ、

極メテ低率ナモノヲ掛ケル、此ノ方式デゴ

ザイマスルガ、之ニ付テ戰時ノ收入ヲ得ル

立場カラ申セバ、是ハ非常ニ煩瑣デアッテ且

多クノ稅額ヲ得ニクイノデアリマス、外國

デヤツテ居リマスヤウナ一般賣上稅的ノ性質、

如何ナル物品ニ付テモ賣買スル毎ニ課稅ス

ル、是ハ徵稅ガ極メテ簡單デアリマシテ

收入ヲ期待シ得ルノデアリマシテ、之ニ移

行スベキデハナイカト云フ說ガアリマスルガ、

政府ハ未ダ其ノ案ヲ採用致シマセヌノハ、普通

丁度今御話ニナリマシタヤウナ國民ノ生活

ニ顧慮スル、斯ウ云フ點カラ出發ヲ致シテ

居ルノデアリマス、先般モ申上ゲマシタヤ

ウニ、直接稅的間接稅トカ負擔力ト云フモ

ノデ、今回ノ增稅ノ各種ノモノニ付キマシ

テハ、仔細ニ御檢討ヲ願ヒマスルト、其ノ

ノヲ非常ニ頭ニ置イテ、徵稅ノ方法ヲ考ヘ

ケルヤウニ致シテアリマス、遊興稅ハソレ

等ノ考慮ニ於テ餘リ必要ナシトスウ云フコ

トモ云ヘルト思ヒマス、今回新タニ創設致

シマシタ特別行爲稅ニ付キマシテモ、理髮、

結髮ノ如キハ一圓未滿ハ何等稅金ガ掛リマ

セス、是ハ普通ノ階級ハ五十錢前後モ事

ガ濟ム場合ガ多イヤウデアリマス、況ヤ一

圓以上デハ相當高級ノモノデゴザイマス、

ソレカラ衣類ノ仕立ニ致シマシテモ、洋服

は幾ラ、和服ハ幾ラトシテアリマス、洋服

ノ如キモノハドウシテモ仕立代ガ高イノデ

アリマスカラ、庶民階級ガヤル程度ノモノ

ハ免稅點以下ニシテアリマス、ソレモ國民

アルモノガ三十三錢ニナル程度デゴザイマ

ス、又入場稅ニ付キマシテモ、免稅點最小

度ハ依然トシテ從來ノ儘据エ置キマス、

又五十錢以下ノ入場料、大眾ガ贅澤ナ芝

居等ヘ行カナイデ、映畫ヲ觀ニ行クト云

フ場合ヘ、今回ハ稅率ヲ引上ゲマセヌノデ

アリマス、是ハ入場稅ノ一例デアリマス、

仕立物トシテ製品ヲ買フモノハ無稅ニシテ

質素ナモノヲ作ルコトハ無稅デアリマス、

コトハ贅澤ト申シマスカ、國民服ノヤウナ

アリマスカラ、庶民階級ガヤル程度ノモノ

ハ免稅點以下ニシテアリマス、ソレモ國民

アルモノガ三十三錢ニナル程度デゴザイマ

ス、又入場稅ニ付キマシテモ、實際ノ價格カラ

申上ゲマスレバ、白砂糖一斤三十錢五厘デ

約十割ノ引上デアル、然ルニ此ノ方ハ一割

前後ノモノデアリマシテ、實際ノ價格カラ

申上ゲマスレバ、白砂糖一斤三十錢五厘デ



ノ配給ニ付テ數量ヲ比較的増加シ、家庭用  
ノ配給ニ次ギ、業務用、其ノ中デモ大衆  
用デナイ、贅澤ナ、料理屋ナドノ配給ヲ非  
常な程度デ之ヲ激減スルト云フ方策ヲ現ニ  
執リツ、アリ、明年モ亦強化シテ參ル考、デ  
アリマス、其ノ外總テ配給ノ方面カラサウ  
云フ措置ヲ致シマスト同時ニ、何トシマジ  
テモ個人ノ私生活ノ問題デアリマスノデ、  
益、サウ云フ方面ノ國民運動、國民ノ自覺ヲ  
強化スル、斯ウ云フ施策ハ十分ニ進メテ參  
リ、精神的ノ方面、配給等ノ物資的ノ方面、  
稅ノ方面、各種ノ方面ト相竝ビマシテ、所  
期ノ目的ヲ達シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ  
メテ戴キタイ

○國務大臣（賀屋興宣君） 企業ノ合同整理  
ハ只今述べマシタヤウニ、戦力増強ニ是非  
必要ナノデアリマス、計畫ヲ致シマシタノ  
ハ急速ニ之ヲ實行スルコトガ必要デアリ  
マス、只今計畫シタモノハ十八年度内ニハ  
之ヲ完了スルト云フ積リデ一箇年ト致シマ  
シタ、尙今後計畫スル必要ガ起リマスレバ、  
其ノ時ニ必要ナラバ新タニ御協賛ヲ得タイ、  
斯ウ考ヘテ居リマス

○子爵梅園篤彦君 必要ガアレバ新タニ  
又法律案ヲ御出シニナルト云フ御話デゴザ  
イマシタガ、ドウモ只今ニ情勢デハ益、其ノ  
必要ガアルノデハナイカト思ヒマス、從ッテ  
來年ニナリマシタナラバ、恐ラク再ビ一箇  
年延長スルト云フヤウナコトニ相成ルノデ  
ハナイカト私ハ思フノデアリマスガ、只今  
大藏大臣カラ斯様ニ申サレマシタノデ、  
其ノ點ハ此ノ程度ニ止メマシテ、尙一點御  
伺ヲ致シタインノデアリマスガ、臨時租税措  
置法制定以來、所謂時局ノ要請ニ依リマシ  
テ致シマシタ企業合同ノ數竝ニ其ノ資本額  
ハ幾何ニ達シテ居リマスルカ、又今後爲サ  
ルベキ企業合同ニ付テノ見透シハ如何デア  
リマスルカ、實ハ此ノ點ヲ特ニ大藏大臣ニ  
伺ヒタイト思フノデアリマス、一體統制經  
濟、計畫經濟ガ今日ノ如ク強化サレテ居リ  
マスル時ニ、企業合同ガ何處迄擴大強化サ  
レルデアラウカト云フ點ニ付キマシテハ、  
事業家ノ方面ニ於キマシテ相當危惧ノ念ヲ  
抱イテ居ル向ガアルヤウニ思ヒマス、仍テ  
此ノ際寧ロ企業合同ノ御計畫ヲハッキリ  
ト發表致サレマシテ其ノ不安ヲ除キ、其  
マス

○國務大臣(賀屋興宣君) 敷字ニ付キマシテ  
テハ或ハ大藏省ノ政府委員モ持ッテ居ラヌ  
カモ知レマセヌ、アリマシタラ御答ヘ申上  
ゲマスシ、又持ッテ居ラナケレバ商工省ノ  
主管省ノ方カラ申上ゲルコトニ致シマス、  
尙全體ノ問題ニ付キマシテモ、私ガ申上ゲ  
ルヨリハ他ノ主管者ガ申上ゲマス方ガ適當  
デアリマスルガ、物事ハ色々ナ方面カラ考  
ヘナケレバナリマセヌノデ、一體ドウナル  
ノダ、落著ク所ハ何處ダ、安心ガ得タイ、  
此ノ方カラ言ヘバ誠ニ御尤モデアリマシテ、  
企業合同ノ全輪郭ヲ決定シテ行クノガ一番  
宜イノデアリマス、併シナガラ實際ノ物事  
ハ是ハ矢張リ戰局ノ進展其ノ他デ決ルノデ  
アリマシテ、生活ノ最低限度ト申シマスル  
カ、五年前ノ最低限度ト今ノ最低限度ト  
ハ、誰シモ感ジガ非常ニ變ッテ居リマス、是  
以上ハドウシテモヤラナイノダ、是ダケハ  
ヤルノダト云フヤウナコトヲ決メテ行キマ  
スト云フコトニ付キマシテハ、其ノ利害ニ  
付テモ相當私ハ考ヘラレルト思フノデアリ  
マス、出來レバ斯ウ云フモノハ斯ウ云フ風  
ニシタイト思ヒマス、是ハ速記ヲ御止メ願  
ヒマス

時間御出ニナルサウデアリマスカラ、若シムニヒタノハ臨時租稅措置法ノ改正ノ要點ニ  
ゴザイマスガ、是ハ抽象的ニハ御説明ニナ  
ビスルコトニ致シマズ、ソレデ一番先ニ同  
タ、確カニ私モ承ッタンドエスガ、具體的  
ノ條文ニ付キマシテ簡単デ宜シウゴザイ  
ス、此ノ點ト此ノ點ダト云フコトト、ソレ  
カラ其ノ立法ノ趣旨ヲ簡單デ宜シウゴザイ  
マスカラ同ヒタイ

○政府委員(松隈宣雄君) 臨時租稅措置法  
ニ付キマシテハ今回數點ノ改正ヲ行ツテ巨  
ルノデアリマスルガ、其ノ改正致シマンタ  
一條ノ四ニ左ノ一號ヲ追加スルト云フコト  
ニ依リマシテ、「法人ガ額面以上ノ價額ヲ法  
以テ株式ヲ發行シタル場合ニ於ケル其ノ額  
面ヲ超ユル金額」ト書イテゴザイマスルガ  
是ハ昨日モ御話ノアリマシタ法人ガ「ブレ  
ミアム」附デ株ヲ募集致シマシテ、其ノ「ブ  
レミアム」ヲ受入レマシタ場合ニ於キマシ  
テ、通常ノ課稅ヲ致シマスルコトハ酷ニナ  
ル場合ガゴザイマスルノデ、特ニ其ノ場合  
ニ於キマシテ課稅標準ノ特例ヲ設ケルコト  
ニ致シタノデゴザイマス、昨日モ申上ダ  
シタ通り、大體ノ標準ト致シマシテハ「ブ  
レミアム」ヲ五割引シテ課稅スルト云フコト  
ニ致シタノデ居リマス、之ニ依リマ  
シテ歲入ガ何程減ズルカト云フコトハ特ニ  
會社ガ受入レテ居リマセヌ、ソレハ從來ハ「ブ  
レミアム」附ノ株式ヲ發行致シマスル場合  
ニ、多ク從來ノ株主ニ引受ケセシメマシテ  
見込ンデゴザイマセヌ、ソレハ從來ハ「ブ

が減少スルト云フ風ニ見ル必要ハナイ所カ  
ラシテ、歳入減ハ見込ンデナイ次第デアリ  
マス、次ニ第一條ノ六ニ「鑛業權者」ノ下ニ及  
使用權者ヲ加ヘテ居リマス、是ハ今回鑛業  
權者ニ對シマシテ更ニ使用權ノ制度ヲ認メマ  
シテ、從來重要鑛物ヲ採掘致シマスル鑛業  
權者ニ對シマシテハ、分類所得稅又ハ法人  
稅ヲ輕減シテ居リマスルノデ、使用權者ニ  
付テモ同ジヤウナ輕減ヲシヨウト云フ譯デ  
アリマス、此ノ部分モ新シク加ハル分デア  
リマスルノデ、特ニ輕減ヲ致シマシテモ、  
ソレガ爲ニ歳入減ハ見込ム必要ガナイト思ツ  
テ居リマス、次ノ第一條ノ十七、第一條ノ  
十八、第一條ノ十九、第一條ノ二十及第一  
條ノ二十一、是等ハ企業ノ整理合同ノ場合  
ニ於キマシテ所謂所得稅、法人稅、營業稅  
等ヲ減免致ス規定デゴザイマスルガ、只今  
モ御話ノアリマシタ通り、企業ノ整理合  
同ニ付キマシテハ餘り長イ年限ヲ認メテ置キ  
マスルト云フト、ユックリ整理合同ヲシテ  
モ恩典ニ與ルト云フ所カラ、整理合同ノ進  
捲ノ妨ゲニナル虞モアル、斯様ナ見地カラ  
致シマシテ期限ヲ切ッタノデアリマスルガ、  
現在ノ企業合同ノ進捲狀況ヲ見マスレバ、  
更ニ一年延期スル必要ガアリト認ヌラレマ  
スルノデ、一年延長シテ居ルノゴザイマス、  
施行ノ狀況ニ鑑ミマシテ更ニ延長スル必要  
ガアリマスレバ、只今大臣カラ御話モアリ  
マシタ通り、更ニ又一年延期スルト云フヤ  
ウナ風ナコトニ考ヘネバナラスト思ツテ居  
リマス、次ノ條文デアリマスル第一條ノ二  
十二、是ハ法令ニ基ク命令又ハ行政官廳ノ  
指導斡旋ニ依リマシテ、事業ノ統制ノ必要  
上、不動産、船舶、鑛業權等ヲ讓渡セシメ

ノデアリマスルガ、個人ガ是等ノ不動産、船舶、鑑業權等ヲ譲渡致シマスルト云フト、讓渡利得ヲ課稅ニナル場合ガアルノデアリマスルガ、自己ノ意思ニ依ツテ自由ニ讓渡致シタト云フ場合ニハ趣ヲ異ニ致シテ居リマスノデ、其ノ場合ニ付キマンテヘ讓渡利得ヲ特ニ二割引致シマシテ臨時利得稅ヲ課稅致シタイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、此ノ改正ニ依リマスル稅額ノ減少額ハ、初年度ニ於テ約二十萬圓ト見込ンデ居リマス、次ニ第一條ノ二十三ニ掲ゲマシリノヘ、企業ノ合同整理等、時局ノ要請ニ基キ營業ヲ廢止スルモノガ出ルノデアリマスルガ、其ノ場合ニ於キマシテ補償金ヲ受ケルノデアリマスルガ、之ニ付キマシテヘ一時ニ補償金ヲ受ケマスト云フト、現在ノ稅法ニ於キマシテハ一時所得トシテ課稅外ニ置カレル譯デアリマスルガ、其ノ場合ニ於キマシテ、年賦式ニ支拂ヲ受ケルト云フコトニナリマスルト云フト、現在ノ稅法ハ、乙種ノ事業所得トシテノ課稅ヲ受ケルト云フヤウナコトニ相成リマスルノデ、彼此權衡ヲ得セシメマスル上カラ云ヒマシテ考慮ヲ要スルノデアリマスルガ、其ノ場合ニ於キマシテ全然非課稅ニスルト云フコトハ、現在ノ稅法ノ建前ヲ根本的ニ覆スコトニナリマスルノデ、相當程度ノ輕減ヲスルト云フコトニ致シテ居リマスルノデ、普通ノ場合ニサウ大シタ金額テ、補償金ノ總額ガ三万圓以下デアレバ五割引ク、三萬圓ヲ超ユルヤウナ場合ニ於テハ二割ヲ引クノデアリマス、尙其ノ總額ガ一萬圓以下デアリマスル場合ニ於テハ全額ヲ免除スルト云フコトニナッテ居リマスルノデ、普通ノ場合ニサウ大シタ金額ヲ貴ハナイヤウナ營業者ハ大體ニ於テ全額

ノ免除ヲ受ケマシテ、一時拂フ受ケマスル者ノ免稅トノ釣合ハ大體取レルモノト見込ンデ居リマス、之ニ依リマスル稅額ノ減少ニアリマスルガ、初年度ニ於キマシテ約三百五十七萬圓位ノ金額ヲ見込ンデ居リマス、次ハ一條ノ二十四デゴザイマシテ、臨時資金調整法第十五條ノ五ノ規定ニ基ク命令ニ依リマシテ、株式ノ讓渡ヲ命ぜラル、場合ガアルノデアリマスルガ、其ノ場合ニ於キマシテハ、讓渡代金ヲ以チマシテ一定ノ期間内ニ國債其ノ他主務官廳ヲ認可シタル有價證券ヲ取得シマシタ場合ニ於キマシテハ、其ノ取得シマシタ有價證券ノ記帳價格ヲ前ノ株式ノ記帳價格ト同額ニシテ置キマシテ、即チ強ヒテ評價益ヲ出サナイトイ云フコトノ出來ルヤウニ致ス規定デゴザイマス、是モ今迄ハ斯ウ云フコトガゴザイマセヌデ、今後臨時資金調整法ノ改正ニ依リマシテサウ云フ場合ガ豫想セラレルノデアリマスノデ、稅額ノ減少ハ特ニハ見込ン居デラナイ次第デアリマス、次ニ第一條ノ二十五ノ規定デアリマスルガ、是ハ既ニ御質問ガアリマシタ通り、木材又ハ薪炭ノ増産ノ必要上、立木ノ伐採又ハ讓渡ヲ爲ス者ガ植エテ參ルノデアリマスルガ、其ノ場合ニ於キマシテ、山林所得ニ從來通リノ課稅ヲ致スト云フコトガ酷ニナル場合ガアリマスノデ、主務官廳ニ於テ各個人ノ伐採豫定數量ヲ定メルコトニ致シマシテ、其ノ豫定數量ヲ超エテ伐採讓渡ヲ致シマシタ場合ニ於キマシテハ、其ノ部分カラ生ジマスル所得ニ付テハ二割ヲ控除シテ課稅致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ依リマス所得稅ノ減收見込額ト致シマシテハ、是ハ平年度デ申上ゲマスガ、約四十七萬圓程度

ハ、統制ノ強化、其ノ他ニ依リマシテ個人ノ營業ガ相當窮屈ニナリマシテ、其ノ結果營業ノ業績ノ相當著シク悪化スル者ガ出テ參ルコトガ豫想セラレルノデゴザイマス、其ノ場合ニ於キマシテ、現在ニ於キマシテハ稅法上前年ノ實績ニ依ツテ課稅ヲ致スコトニナツテ居リマス、理窟ハ正ニ其ノ通りデアリマスルガ、前年相當ノ營業ヲ致シテ居リマシタ者ガ今年ニ於テ事業ノ統制等ノ關係カラ營業ガ相當縮小サレテ參リマシタ場合ニ於キマシテ、前年ノ實績デ課稅ヲサレテ納稅ヲスルト云フコトニナリマスルト、納稅上相當ノ苦痛ヲ感ズル場合ガゴザイマスルノデ、理窟ハ鬼モ角ト致シマシテ、此ノ際相當負擔ヲ輕減スルコトガ宜シカラウ、斯様ニ考テ茲ニ規定シテ居ルノデアリマシテ、減少割合ガ七割以下デアル時ニハ二割、七割ヲ超エルヤウナ場合ニ於キマシテハ四割ト致シテ居ルノデアリマス、其ノ場合ニ於キマシテモ、個人ノ其ノ決定ヲ致サウト致シマスル年ノ營業所得ガ三萬圓以上デアリマスレバ、是ハ相當大キク營業ヲ致シテ居ル者デアリマシテ、サウ云フ者ニ於キマシテハ、資產ノ蓄積等モ相當考ヘラレルノデアリマスルノデ、何トカ稅金ヲ納メラレルデアラウト云フ所カラ、サウ云フ者ハ除外シテ居リマス、又前述三箇年ノ平均ト較ベルト云フコトニナツテ居リマスルガ、前年ガ偶々小サカッタト云フ所カ定ヲ致シマスル年ノ營業ガ減少シテ居リマスルガ、前年ノ營業ヨリハ減少シテ居ナイ

ト云フヤウナ者ニ付テハ、特ニ此ノ規定ヲ適用スルノ必要ハナカラウト認メテ除外シテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙、第一條ノ二十七ニ依リマシテ、第一條ノ二十六ノ適用ヲ受ケル者ハ政府ニ申請ヲ要スルト云フコトニナツテ居リ、其ノ申請ガアリマシタ時ニハ、政府ハ輕減處分ノ確定スルニ至ル迄税金ノ徵收ヲ猶豫シテ置クコトガ出来ルト云フコトニナツテ居リマス、之ニ依リマスル減少額ト致シマシテ、初年度ニ於キマシテ約二百八十萬圓程ノ金額ヲ見積ッテ居リマス、次ハ第一條ノ二十八デアリマシテ、法令、法令ニ基ク命令又ハ行政官廳ノ指導若ハ斡旋ニ依リマシテ事業ニ屬スル設備又ハ權利ヲ統制ノ必要上命令ヲ以テ定メル者ニ讓渡致シマシタ法人デアリマシテ、行政官廳ノ指導、斡旋ニ依リマシテ解散ヲサセラレナイ、存續セシメラレルト云フモノニ付キマシテハ、負擔ノ加重ヲ來ス場合モアリマスルノデ、其ノ場合ニ於キマシテ、負擔ガ特ニ加重ニナツタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、所得稅、法人稅、營業稅、臨時利得稅ヲ輕減スルコトヲ得ル旨ノ規定ヲ置イタノデアリマス、差當リ此ノ規定ノ適用トシテ豫想セラレマスル場合ハ、政府ガ私鐵ヲ買収致シマシタル場合ニ於キマシテ、買收サレタ私鐵トシテハ解散シタイト云フヤウナ場合ニ於キマシテモ、行政官廳ノ指導、斡旋ニ依ツテ、解散ヲセシメズノ場合ニ於キマシテ、負擔ガ加重ニナルト云フヤウナ場合ニ於テ、租稅ヲ輕減シ得ルコトニ致スノデゴザイマス、是ハ新シク設ケラレタ規定デアリマスルト共ニ、今迄ナ

カツタコトガ新タニ附加ハルトスウ云フヤウ  
ナ譯デアリマスルカラ、特ニ之ガ爲ニ歳入  
ノ減少額ハ見積シテ居ラナイヤウナ次第デ  
アリマス、第二十二條ノ三中「昭和十八年」ヲ  
「昭和十九年」ニ改正シマシタノハ、企業合同  
ノ場合ニ於キマスル登録税ノ輕減ヲ更ニ一  
年延シタト云フ譯デゴザイマス、登録税ノ

條ノ二十二、第一條ノ二十三、第一條ノ二十四ト云フヤウナコトニ譲渡ノ時ノ規定ガアリマスガ、此ノ譲渡ハ基本ニナッテ居ル資産ガ換價サレタノデ、他ノ場合ニモ斯ウ云フ場合ハ澤山アリマスガ、是ハ利得ト見ルベキモノデナイト云フヤウニ考ヘラレマスガ、從來是ハ利得ト見テサウ云フコトヲヤッテ居

テ置キマスレバ臨時利得税法ニ依ル讓渡利得ノ課稅ガ起ル譯アリマス、ソコデ其ノ場合ニ於テ輕減ノ必要ガ生ジマスノデ、此ノ規定ヲ置イテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、次ニ第一條ノ二十四ノ株式ノ讓渡デゴザイマスガ、是ハ個人ノ場合ニ付テ課稅ガナイコトハ、株式ヲ讓渡致シマシテ利得ガ

減少額ト致シマシテハ、初年度二百六十萬圓位ノ金額ガ見積ラレテアリマス、第二十二條ノ四ノ規定ト致シマシテハ、鑛業又ハ砂鑛業ノ著手又ハ繼續ノ許可ヲ申請致シマシタ場合ニ於テ、今後ハ不許可トナリ得ル場合ガアルノデアリマスガ、其ノ場合ニ於キマスル鑛區又ハ砂鑛區ニ對スル鑛區稅ヲ三分ノ一一輕減シヨウト云フ規定デアリマシテ、之ガ爲ニ見積ツテ居リマスル租稅ノ減收額ハ初年度デ約三百萬圓デゴザイマス、以上ガ臨時租稅措置法ニ於テ改正致シマスル主ナル事項ノ説明デゴザイマシタ、全體ト致シマシテ臨時租稅措置法改正ニ依リマスル減收見込額ガ初年度ニ於テ三千四百萬圓ニ及シテ居リマス、事項別ノ金額ハ只今申上ガタ通リデゴザイマスルガ、事項ヲ離レテ、今度ハ稅目別ノ金額ヲ申上ゲマスト、是ハ資料トシテ御配リシテアルト思フノデアリマスガ、所得稅ニ於キマシテ二千五百餘萬圓、法人稅ニ於テ二百餘萬圓、臨時利得稅ニ於テ約九十萬圓、鑛區稅ニ於テ三百萬圓、登錄稅ニ係ハル印紙收入ニ於キマシテ二百六十餘萬圓、合計致シマシテ三四百萬圓餘ニ及シテ居ルヤウナ次第デゴ

○政府委員(松隈秀雄君) 第一條ノ二十二ニ  
ニ關シマシテハ、個人ガ不動産ヲ賣タリ、  
船舶ヲ賣リマシタリ、或ハ鑛業權ヲ賣リマシ-  
タ場合ハ、ズット以前ハ課稅ガナカッタノデ  
ゴザイマスガ、其ノ後ニ於キマシテ臨時利  
得稅法ヲ改正致シマシテ、個人ノ船舶、鑛  
業權ノ讓渡ニ依ル利得ニ對シテ先づ課稅  
ヲ開始シマシタ、續イテ昨年デアツタと思ヒ  
マスガ、土地、建物等ノ讓渡ニ付キシマテ  
モ讓渡利得ニ課稅スルト云フコトニ相成タ  
ノデアリマス、ソコデ普通ニ、個人ガ自由  
意思デ土地、建物、船舶、鑛業權等ヲ賣リ  
マスレバ、取得價格ト賣却價格トノ差額カ  
ラ經費ヲ引キマシタモノヲ利得金額トシテ  
臨時利得稅ガ掛カルノデアリマスガ、第一  
條ノ二十二ニ規定シテアリマスヤウナ場合  
ハ、個人ノ自由意思デナクテ、法令ニ基イタ  
タリ、或ハ法令ニ基ク命令ニ依ツタリ、或ハ  
官廳ノ指導斡旋ニ依ルノデアリマスカラ、  
普通ノ課稅ヲスルノハ無理デアル、斯様ニ  
考へテ輕減シテ居ルノデアリマス、例ヘバ  
或工場ガ土地、建物ヲ持ツテ居ルト云フヤウ  
ナ場合ニ、其ノ工場ニ持タシテ置クヨリモ、  
他ノ重要產業ノ方ニ工場ヲ土地、建物共ニ

アシタト致シマシテモ 譲渡利得ノ課税ノナ  
イコトハ昨日モ申上ガタ通リデアリマスガ、  
法人ガ株ヲ譲渡致シマシテ其ノ譲渡代金ヲ  
云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、ソコニ資  
産ノ處分益ガ出タト云フコトニナルノデ  
アリマス、法人ガ其ノ自由意思ニ依リ  
マシテ株ヲ譲渡致シマシテ、處分益ヲ  
出シタノデアルナラバ課税スルノニ何等  
差支ナイノデアリマスガ、此ノ場合ハ臨時  
資金調整法第十五條ノ五ノ規定ノ活用ニ依  
リマシテ、政府ニ於キマシテ、必要ガアッテ  
株ノ需給調節ヲ圖ル爲ニ株式ヲ特ニ譲渡ヲ  
命ズルト云フヤウナ場合デアリマスノデ、  
譲渡ヲ命ゼラレタガ爲ニ一時ニ澤山ノ處分  
益ガ出マシテ、臨時利得税等ガ累進的ニ掛  
カルト云フヤウナコトニナリマシテモ氣ノ  
毒デアリマスノデ、其ノ場合ニ於キマシテ  
ハ譲渡代金ヲ以テ國債其ノ他ノ有價證券ヲ  
代リニ買ヒマシテ、其ノ有價證券ヲ元ノ株  
式ノ記帳價格デ記帳シテ置クト云フコトニ  
依ヅテ、強ヒテ資産ノ振替リニ依リマス評價  
益ヲ出サナイヤウニスレバ課税ヲ受ケナイ、  
斯ウ云フヤウナ風ニ致シテ居ル次第アリ

○子爵大河内輝耕君 大變詳シイ御説明デ  
能ク分リマシタガ、私思違ヒヨシテ居ルノ  
カト存ジマスルカラ伺ヒマスガ、此ノ第一

賣レト云フヤウナ指導斡旋ニ依ル讓渡ガアツ  
タト云フ場合ニ於キマシテモ、由ツテ以テ讓  
渡利得ガ出ルト云フコトニナリマスレバ、抛ツ

○子爵大河内輝耕君 能ク分リマシタガ、  
此ノ第一條ノ二十二、二十三、是等ハ謂八  
マス

バ一時利得ニ屬スルモノデ、所得ト云々テモイカドウカ分ラヌガ、假ニ所得ト云々テモ一時ノモノデアル、サウ云フモノハ寧ロ税ヲ掛ケナイデ、サウシテ生産擴充ノ資金ニ充當サセルトカ、或ハソレガナケレバ國債ヲ引受ケサシテモ宜イン、何カサウ云フ用途ニデモ使フノガ宜カラウト云フヤウニ考ヘラレマスガ、何カソンナ御研究ガアリマスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 一時所得ニ對シマスル課税ヲ寧ロ緩和シテ、一時所得ノ舉其ノ金額デ、或ハ國債ヲ持タセルトカ、或ハ生産力擴充ニ必要ナ株式ニ應募セシメルト云フヤウナコトニスルト云フノモ一ツノ考ヘ方デゴザイマガ、今迄ノ考へ方ト致シマシテベ、租稅收入ノ增加ヲ相當強ク圖ル必要ガアリマス場合ニ於キマシテ、年々反復シテ入ツテ參リマス各人ノ收入等ニ對シマントモ稅率ガ相當重クナッテ參ッタノニアリマスカラ、一時所得ノヤウナ場合、殊ニ其ノ一時所得ノ舉ツテ參リマス原因ガ、本人ノ不勞所得トモ見ルベキ、時局ノ影響等ニ依ル値上リ等デアリマス場合ニ於テハ、之ニ相當ノ擴稅力ヲ認メテ課稅ヲスルト云フコトモ適當デアルト考ヘラレマス所カラ、一時所得ノ中ノ或物ニ對シマシテハ課稅ヲスルト云フコトデ、一時所得ノ課稅範圍ヲ漸次擴ゲテ參ッテ來テ居ルノニアリマシテ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、最初ニ先づ船舶、鑛業權ノ讓渡ニ依ル一時所得ニ課稅シ、次イデ土地、建物等ニ及ンデ居ルノニアリマスガ、今日ト致シマシテ残ツテ居ル主ナルモノト致シマシテハ、株式ノ實物讓渡ニ依リマス一時所得ニアリマスガ、之ニ付テハ既ニ船舶、鑛業權、土地、建物等ノ讓渡ニ課

稅スル以上課稅スルコトガ適當デアルトモ考ヘラレルノニアリマシテ、稅務當局ト致シマシテハ其ノ具體的ナ案ヲ研究シテ參ッテ居ルノニアリマスガ、目下他ノ方面カラノ施策トノ關係モ考慮致シマシテ、特ニ此ノ點ハ實行ヲ見合セテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、大體ノ考ト致シマシテハ、一時所得ノ中相當纏タ所得デアリ、課稅上ノ捕捉モ比較的容易デアレバ、一時所得ノ課稅ハ漸次擴充シテ參ル 方向ニ行キタイト思ッテ居ル次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ點ハ能ク分リマシタ、ソレデ次ニ伺ヒタノデスガ、餘リ多岐ニ瓦リマスカラ、成ルベク一括シテ御問ヒ致シマス、第一ハ、モウ少シ儲ケサセルヤルヤウニシタラドウカト云フコトナンデス、大體ニ於テハ、利益ノ制限ト云フコトニ付テハ、ア、云フモノハ御廢メニナッテ、利益ヲ非常ニ多クノ稅デ取シテモ宜イシ、又公債ヲ應募サシテモ宜イシ、何カサウ云フコトニシテ、ア、云フ儲ケテハイケナイト云フヤウナ頭ヲ人ニ懷カセルト云フコトハ、今速記ガ止ツテ居ラヌ中デスカラ、名前ハ申シマセヌガ、或權威ノアル方カラ直接ナ御意見ノ御開陳モアリマシタガ、兎ニ角サウ云フヤウナ考ヲ持タセルト云フコトハ面白クナイト思ヒマス、此ノ點ハドウ御考ヘデスカラ、又一般市民ニ對シテモ隨分公債ノ應募ガ頻繁ニ來ルノデ、實ハナカノ苦シカクナイト思ヒマス、此ノ點ハドウ御考ヘデス、例ヘバ内職ヲ周旋スルコトハ極ク宜イド思ビマス、今内職ヲ大變卑シイモノノ

○政府委員(松隈秀雄君) 第一ノ質問ヘ、配當制限ヲ致シテ居ルト云フヤウナコトハ政策トシテ頗ル消極的デアルカラ、此ノ際利益ノアル者ハ相當利益ヲ上ゲルヤウニシテ居リマスカ、具體的ニ表示シテ戴キタイ、此ノ三點ヲ伺ヒマス

○政府委員(松隈秀雄君) 第二ノ質問ヘ、配當制限ヲ致シテ居ルト云フヤウナコトハ政策トシテ頗ル消極的デアルカラ、此ノ際利益ノアル者ハ相當利益ヲ上ゲルヤウニシテ居リマス、次ニ内職ノ問題ニ付キマシテハ、誠ニ増スコトニ付キマシテ、殊ニソレガ比較的收入ノ少イ階級デアリマスルナラバ、内職ノ如キハ最モ有力ナ手段デゴザイマシテ、御意見御尤モデゴザイマシテ、今日所得ヲ現ニ隣組等ニ於キマシテ、貯蓄成績ノ相當良好ナル所ニ於キマシテハ、唯節約ヲシテ貯蓄ヲシロ、公債ヲ買ヘト云フヤウナコトヲ言フダケデナクテ、隣組ノ組長等ガ、市区役所、或ハ必要ナル會社等ト連絡ヲ圖リマシテ、適當ニ内職ノ幹族ヲ致シマシテ、其ノ内職カラ得マシタ所得ヲ貯蓄セシメテ居

ヤウニ考ヘテ居リマスガ、内職ヲ卑シムトガ、斯ウ云フ時ノ職域奉公ト云フコトハ固ニヨリ勤勞奉仕ナンカラスルコトデ、ソレコソ本當ノ勤勞奉仕ナンデス、日比谷公園ノ僅ヘ行ツテ旗ヲ立テ勤勞奉仕トカ何トカ言ツテヤツテ居ルガ、實ニアンナモノハヲカシナ話デ、ソレヨリモ人ガ見ナイ所ニ、宜イノデス、人ガ見タツテ見ナクタツテソンナコトハドウデモ宜イ、本當ニ勤勞奉仕サヘシテ居レバ宜イノデ、家庭ニ相當ノ内職ヲ周旋サレルナント云フヤウナコトモ宜カラウト思フ、サウ云フコトハドウ云フ風ニ御考ヘデアルカ、兎ニ角モウ少シ儲ケサセルヤウニシナイト、或階級ハ徒ニ苦シメル、或階級ハ濫費ヲ獎勵スルト云フヤウナコトニナル、其ノ點ガ一點、ソレカラ次ニ財產稅ヲ行ハレル考ヘガアルカドウカ、アルナラアル、ナイナラナイ、其ノ理由ヲ併セテ簡單デ宜シウゴザイマスカラ伺ヒタイ、又第三ニハ、此ノ法律ノ施行期日ガ何時ニナツテ居リマスカ、具體的ニ表示シテ戴キタイ、此ノ三點ヲ伺ヒマス

リマス、現在ノヤウナ戰時下ニ於キマシテ、從來ノ自由主義時代ノヤウナ考ヲ持ツテ、儲ケ得ル者ニハ十分儲ケサセルト云フヤウシマシテ、大體ノ考ト致シマシテハ、一時所得ノ中相當纏タ所得デアリ、課稅上ノ捕捉モ比較的容易デアレバ、一時所得ノ課稅ハ漸次擴充シテ參ル 方向ニ行キタイト思ッテ居ル次第デアリマス

言ツテ適正ナル利潤ヲ阻ムト云フヤウナコトニナリマスルト、是ハ生産ノ強増ニ又支障ヲ來スノデアリマスカラ、結局ムツカシノデス、人ガ見タツテ見ナクタツテソンナコトハドウデモ宜イ、本當ニ勤勞奉仕サヘシトハドウデモ宜イ、本當ニ勤勞奉仕サヘシテ居レバ宜イノデ、家庭ニ相當ノ内職ヲ周旋サレルナント云フヤウナコトモ宜カラウト思フノデアリマス、併シサレバト言ツテ適正ナル利潤ヲ阻ムト云フヤウナコトニナリマスルト、是ハ生産ノ強増ニ又支障ヲ來スノデアリマスカラ、結局ムツカシノ政策ヲ持ツテ參ル必要ガアルト思フノニアリマス、尙戰時下ニ於キマスル生産増強ノ必要上カラ申シマシテ、一律的ナ統制ヲスルト云フコトノ弊害モ十分ニ矯正スル必要ガアルノデアリマシテ、例ヘバ或種ノ企業リマス、尙戰時下ニ於キマスル生産増強ノ必要上カラ申シマシテ、一律的ナ統制ヲスルト云フコトノ弊害モ十分ニ矯正スル必要ガアルノデアリマシテ、例ヘバ或種ノ企業ニ於テ特ニ工夫改善ヲ凝ラシテ、ソレガ爲ニ能率ヲ非常ニ向上致シマシテ、質的ニ見マシテモ、量的ニ言ヒマシテモ、或ハ時間的ニ見マシテモ、非常ニ生産ノ能率ヲ上ゲタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、何等カソコニ特殊ノ褒賞的ナ考ヲ以チマシテ、ソレニ從事シタ者ノ利潤ヲ増スト云フヤウナ工夫ハ、同時ニ必要ナコトデアラウカト思フノデアリマス、次ニ内職ノ問題ニ付キマシテハ、誠ニ御意見御尤モデゴザイマシテ、今日所得ヲ現ニ隣組等ニ於キマシテ、貯蓄成績ノ相當良好ナル所ニ於キマシテハ、唯節約ヲシテ貯蓄ヲシロ、公債ヲ買ヘト云フヤウナコトヲ言フダケデナクテ、隣組ノ組長等ガ、市区役所、或ハ必要ナル會社等ト連絡ヲ圖リマシテ、適當ニ内職ノ幹族ヲ致シマシテ、其ノ内職カラ得マシタ所得ヲ貯蓄セシメテ居



ヲ決メル、ソレニハ適正ナ利潤以上ノ利益ガナイヤウニ決メル、之ヲ放シテ置キマスト、ドウセ今購買力ガ多クテ物ノ供給ガ少イノデアリマスカラ上リ放題ニ上ル、ソレデハ宜クナノデアリマスカラ適正價格ヲ決メル、斯ウ云フ方面デ利潤ト云フモノハ自フ制限サレル、サウシテ大事ナノハ能率ヲ上ゲテ適正ノ價格デ、假ニ或物ヲ十圓ト決メテ一圓利益ガアルノガ正シトイマシタ場合ニ、其ノ人ガ大イニ能率ヲ上ゲテ八圓五十錢デ造ツテ一圓五十錢儲ケルノハ寧ロ獎勵ヲシタイ位ニ考ヘテ居リマス、唯、今物ガ比較的少クテ購買力ガ多イノラ放シテ置キマスト、能率ヲ上ゲナイデ九圓シカ掛ラナイモノヲ十一圓、十二圓、十五圓ニモ是ガナル、昨日北支ナリ支那ノ御話ガ出マシガ、サウ云フ風ニ高クナル、サウ云フ不當ノ利潤ハイケナイ、又物價政策カラモイケナイノデ適正價格ヲ決メタイ、斯ウ云フ越旨ナノデゴザイマス、ソレデ例ノ「プール」價格平準制ニ致シマシテモ、例ヘバ現在デアリマスト石炭ガ欲シイ、平生ナラ山元價格方三十圓モスルヤウナ炭ヲ掘レト言シテモ、ソンナモノハ掘ラヌ方ガ宜イト云フコトニナリマスガ、今デハ假令「百トン」デモ二百「トン」デモ欲シイ、サウ云フモノヲ掘ラナケレバナラスト致シマシタ場合ニ、往年ノ如ク自由ニ致シマスト云フト、價格ハ皆高イモノニ競リ上ル、三十圓掛レバ利益ヲ見テ三十三圓ト云フコトニナルト、山元價格ガ十五圓シカ掛ラヌモノデモ、ソレモ強チ勉強シタノデハナクテ、自然條件ノ好イモノデモ三十三圓ニ均霑シテ十八圓ノ利益ニアルト云フヤウナコトガアルノデアリマス、併シ一方今日ハ三十圓ノモノデモ掘ラナケ

レバナラヌノデアリマスガ、サウ云フ風ニ安ク掘レル山ガ全ク高イ山ト同ジヤウニ上シマッテハイケナイ、同ジニハヤラナイト云フ考慮ハ致シテ居ルノデアリマスガ、結局決メル、斯ウ云フ方面デ利潤ト云フモノハサウ云フヤウナ觀點デ直接利益ヲ抑ヘテ行クト云フコトデナク、寧ロ價格ノ方ヲ制限シテ、能率ヲ上ゲレバ利益ガ多クナルト云フ方ヘ寧ロ持シテ行キタイト云フ位ニ考ヘテ居リマス。

○子爵大河内輝耕君 其ノ御趣旨ハ凡ソ先刻私ノ述ベタ愚見ト近イ、近イデヤナインソクリ同ジデアリマス、併シ實際ノ法律ノ立テ方ハ利率ヲ御制限ニナシテ居ルヤウニ思フノデゴザイマスガ、サウデナノイデアリマスカ、幾ラ以上ノ配當ハイケナイト云フヤウナコトデ……

○國務大臣(賀屋興宣君) 會社ノ利益ハ抑ヘマセヌデ、適正ナ營業ヲシテ、利益ガ餘計出ルコトハ希望シマスガ、ソレヲ株主ニ配當スルコトハ或程度デ止メテ置イテ、社内デ留保シテ行キタイ、サウシテ會社自體ノ資産ヲ増シタイ、コツチニ方針ヲ置イテアリマスカラソレ以上ハ申上ゲマセヌ、次ノ質問ニ移リタイト思ヒマスガ、時間ガゴザイマセヌガ如何デアリマセウカ。

○委員長(伯爵酒井忠正君) 午後モ質問ヲ繼續シタイト思ヒマスケレドモ、國務大臣ノ御都合ハ證券ノ方ノ委員會モオアリダサウデアリマスカラ、全部出ラレルコトハ無理カト思ヒマス。

○子爵大河内輝耕君 私ハ質問ノ要點ヲ主税局長ニ申上ゲテ置キマシタシ、主税局長カラ大臣ヘ御相談ニナシテ御答ヘ下サレバ、私ダケナラ大臣ヘオイデ下サラヌデモ宜シ。

○副委員長(男爵東郷安君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス。

○子爵大河内輝耕君 先程午前ニ伺ヒマシタガ、内職ノ獎勵ノコトヲ伺ツタノデスガ是ハ何カ具體的ナ獎勵ノ手段デモ御考デアリマセウカ、ソレモマダサウ云フモノハノデアリマセウカ、其ノ邊ノ御見込ハ如何デスカ。

○政府委員(松隈秀雄君) 具體的ノ内職ニ付キマシテハ、私モ詳シイコトヲ存ジナリマセウカ、ソレモマダサウ云フモノハノデアリマスルガ、是ハ隣組等ノ活動ノ場合ニ於キマシテハ、例ヘバ白衣ノ勇士ニ着セマス衣類ノ仕立等ヲ、關係方面ト連絡シテ隣組ニ引受ケルト云フヤウナコトヲヤッテ居ル向モアルヤニ聞イテ居ルノデゴザイマス、

ハ緩和サレル御考ハゴザイマスマイカラレマス、是ハ許可シテ宜シウゴザイマス

○國務大臣(賀屋興宣君) ドウモ此ノ配當ハ餘リ高率ヲ認メマスルト云フト、ソレガシマッテハイケナイ、同ジニハヤラナイト云フ考慮ハ致シテ居ルノデアリマスガ、結局決メル、斯ウ云フ方面デ利潤ト云フモノハ自フ制限サレル、サウシテ大事ナノハ能率ヲ上ゲテ適正ノ價格デ、假ニ或物ヲ十圓ト決メテ一圓利益ガアルノガ正シトイマシタ場合ニ、其ノ人ガ大イニ能率ヲ上ゲテ八

○委員長(伯爵酒井忠正君) 御異議ナイトテ、只今ノ所ハ相當ニ弊害モ多イト認メマス、サウシテソレデ高率配當ヘ相當ニ抑ヘル、併シドレモ一律ト云フコトハアリマセヌ、御承知ノヤウニ相當ノ事業ノ業績ノ良いモノニハマダ一割配當ヲ致シテ居ルモノモアルノデアリマス、ソコハニ一割デモ宜イ、ノデゴザイマスガ、サウデナノイデアリマスカ、幾ラ以上ノ配當ハイケナイト云フヤウナコトデ……

○子爵大河内輝耕君 若シ大臣ガオイデ下少シクアレニ關聯シテ事務局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、午後ニ致シマスサレバ尙結構デアリマス。

○子爵大河内輝耕君 若シ大臣ガオイデ下ノ質問ニ移リタイト思ヒマスガ、時間ガゴザイマセヌガ如何デアリマセウカ。

○子爵大河内輝耕君 此ノコトハ議論ニナリマスカラソレ以上ハ申上ゲマセヌ、次ノ質問ニ移リタイト思ヒマスガ、時間ガゴザイマセヌガ如何デアリマセウカ。

○子爵大河内輝耕君 ソレハ御都合配當ハ相當規正ヲスル必要ガアル、併シ社内留保ハソレデ出來ルダケ多クスル、其ノ方ガ適切デアラウト考ヘテ居リマス。

○子爵大河内輝耕君 此ノコトハ議論ニナリマスカラソレ以上ハ申上ゲマセヌ、次ノ質問ニ移リタイト思ヒマスガ、時間ガゴザイマセヌガ如何デアリマセウカ。

○子爵大河内輝耕君 ソレハ御都合配當デ……ソレデハ午前中ヘ是デ休憩ヲ致シマス、午後ハ一時半ヨリ開會致シマス、休憩致シマス。

質問トシテ中山太一君ガ質問ヲ希望シテ居ラレマス、是ハ許可シテ宜シウゴザイマスカ。

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵酒井忠正君) 御異議ナイト認メマス、ソレデハ中山君ノ御質問ハ午後ノ質問ノ際ニ御願ヒスルコトニ致シマス。

○橋本辰二郎君 私ハ先程大河内サンノ御尋ニナリマシタ臨時措置法ニ付キマシテ、少シクアレニ關聯シテ事務局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、午後ニ致シマスサレバ尙結構デアリマス。

○子爵大河内輝耕君 若シ大臣ガオイデ下少シクアレニ關聯シテ事務局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、午後ニ致シマスサレバ尙結構デアリマス。

○子爵大河内輝耕君 若シ大臣ガオイデ下ノ質問ニ移リタイト思ヒマスガ、時間ガゴザイマセヌガ如何デアリマセウカ。

○子爵大河内輝耕君 ソレハ御都合配當デ……ソレデハ午前中ヘ是デ休憩ヲ致シマス、午後ハ一時半ヨリ開會致シマス、休憩致シマス。

スルガ、此ノ點ハ頭ヲ使ヒマスルコトニ依リマシテ、今迄ハ出來ナカッタコトデアリマシテモ、今後或程度迄取入レテ擴張シテ行ク餘地ガ相當アルノデハナイカト思ヒマス  
○子爵大河内輝耕君 家族制度ヲブチ壞スト云フコトニナルト面白クアリマセヌガ、皆工場ニ連レテ行クト云フコトニナルトは亦設備ナドモ要リマスシ、家庭デ出来ルコトハ出來ルダケ家庭デヤツラ宜カラウト思フ、尙此處ハ御研究ヲ願ヒマス、次ニ伺ヒタインハ物品稅デスガ、物品稅ノ内容ヲ見マスト云フト物品稅ノ中ニハ、此ノ建前トシテハ誠ニ結構デ、能ク理論ヲ貫イテ居リ、事務案トシテモ少シモ間然スル所ハナイヤウデアリマス、其ノ中ヲ見マスト幾ラカ濫費ヲ獎勵シヤシナイカト云フ傾キガアル、ナゼカト云フト品物ニ依リマスト、一番堅實ナ物ヲ買フノガ一番得ナノデアル、衣類ニシテモ、或ハ日用品ニシテモ、其ノ他備品ニシテモ堅實ナ物ヲ使ツテ行ケバ一生涯カ、シテモ使ヘル、只見タヤウニナッテンアル、安物買ヒヲヤリ、マスト非常ニ不經濟ニナル、近頃ノヤウナ物ガ粗悪デアル、實ニ金ガ掛シテ敵ハナイ、此ノ點ヲモウ少シ御考慮ニナッテ、何カ規格デモ決メテ、サウ云フモノニ付テハ稅ヲズット減スト云フヤウナコトヲオヤリニナッタラ餘程助カルダラウト思ヒマス、サウ云フコトニ付テ伺ヒタイ、ソレカラ尙又物品稅ノ中ニハ實用品ト認メラレルヤウナモノモアリマス、サウ云フヤウナモノニ付テ、靴トカ、帽子トカ、外ニモアリマスガ、斯ウ云フモノハモウ少し御考慮ニナル餘地ガアリヤシナイカ、最低限ハアリマスケレドモ、ドウモ三圓以下ノ帽子ト云フモノハ見付ケタツデナカノアリマセヌ、

スルガ、此ノ點ハ頭ヲ使ヒマスルコトニ依リマス、サウ云フヤウナ點ガマダ多少アリヤニ思ハレル、一ツ特ニ伺ヒタイノハ今度羽毛ヲ加ヘラレタコトデアリマス、羽毛ヲ云フコトハナカノ实行ガ困難デアリマシテ、差當リ支出スル其ノ支出金額ニ依リ度羽毛ヲ加ヘラレタコトデアリマス、羽毛ヲ云フモノハ贅澤ニ使ハレル場合モ成ル程アリマシタ、モウ併シ斯ウ綿ガナクナッテ來レバ是ガ棉花ノ代用品ニナリ、今ハ必要品ダト私ハ認メテ居ル、併シソンナラバ必品デアルトスレバ、故ラ課稅ヲセラレルダケヲ御伺ヒ致シマス  
○政府委員(松隈秀雄君) 只今ノ御意見ハ誠ニ御尤ノ點ガアルノデアリマシテ、我々ノ私生活ニ於キマシテモ値段ガ安イダケデ、アツテ、耐久性ガナイト云フコトデアリマスレバ、サウ云フト物貿ト云フコトハ大局的見地カラ見レバ損ニナルコトデアリマス、從ヒマシテ御説ニ同感ノ點ハアルノデゴザイマスルガ、今年ノ稅ヲドウスル、キマシテハ、ドウモ此ノ外ニウマイ方法ガナイト斯ウ云フ譯デアリマス、實用品ノ課稅ニ、實用品ト認メラル、物ガ課稅範圍ニスルノデ、出來レバ多少値段ハ高クテモ、丈夫デ立派ナ物ヲ買シテ置ク方が得ト、斯段階ニナッテ參リマスルト云フト、一概ニサウウ云フコトハ確カニ言ヘルノデアリマスルガ、

トシ、又此ノ課稅最低限ニ付テモ据置ヲ致シテ居リマシテ、只今御述ニナリマシタ帽子ノ如キモノモ從來一箇三圓ニナッテ居リシテ、モウ是以下ゲルノハドウカト思ルヤニ思ハレル、一ツ特ニ伺ヒタイノハ今度羽毛ヲ加ヘラレタコトデアリマス、羽毛ヲ云フコトハナカノ实行ガ困難デアリマシテ、差當リ支出スル其ノ支出金額ニ依リ度羽毛ヲ加ヘラレタコトデアリマス、羽毛ヲ云フモノハ贅澤ニ使ハレル場合モ成ル程アリマシタ、モウ併シ斯ウ綿ガナクナッテ來レバ是ガ棉花ノ代用品ニナリ、今ハ必要品ダト私ハ認メテ居ル、併シソンナラバ必品デアルトスレバ、故ラ課稅ヲセラレルダケヲ御伺ヒ致シマス  
○政府委員(松隈秀雄君) 只今ノ御意見ハ誠ニ御尤ノ點ガアルノデアリマシテ、我々ノ私生活ニ於キマシテモ値段ガ安イダケデ、アツテ、耐久性ガナイト云フコトデアリマスレバ、サウ云フト物貿ト云フコトハ大局的見地カラ見レバ損ニナルコトデアリマス、從ヒマシテ御説ニ同感ノ點ハアルノデゴザイマスルガ、今年ノ稅ヲドウスル、キマシテハ、ドウモ此ノ外ニウマイ方法ガナイト斯ウ云フ譯デアリマス、實用品ノ課稅ニ、實用品ト認メラル、物ガ課稅範圍ニスルノデ、出來レバ多少値段ハ高クテモ、丈夫デ立派ナ物ヲ買シテ置ク方が得ト、斯段階ニナッテ參リマスルト云フト、一概ニサウウ云フコトハ確カニ言ヘルノデアリマスルガ、

トシ、又此ノ課稅最低限ニ付テモ据置ヲ致シテ居リマシテ、只今御述ニナリマシタ帽子ノ如キモノモ從來一箇三圓ニナッテ居リシテ、モウ是以下ゲルノハドウカト思ルヤニ思ハレル、一ツ特ニ伺ヒタイノハ今度羽毛ヲ加ヘラレタコトデアリマス、羽毛ヲ云フコトハナカノ实行ガ困難デアリマシテ、差當リ支出スル其ノ支出金額ニ依リ度羽毛ヲ加ヘラレタコトデアリマス、羽毛ヲ云フモノハ贅澤ニ使ハレル場合モ成ル程アリマシタ、モウ併シ斯ウ綿ガナクナッテ來レバ是ガ棉花ノ代用品ニナリ、今ハ必要品ダト私ハ認メテ居ル、併シソンナラバ必品デアルトスレバ、故ラ課稅ヲセラレルダケヲ御伺ヒ致シマス  
○政府委員(松隈秀雄君) 只今ノ御意見ハ誠ニ御尤ノ點ガアルノデアリマシテ、我々ノ私生活ニ於キマシテモ値段ガ安イダケデ、アツテ、耐久性ガナイト云フコトデアリマスレバ、サウ云フト物貿ト云フコトハ大局的見地カラ見レバ損ニナルコトデアリマス、從ヒマシテ御説ニ同感ノ點ハアルノデゴザイマスルガ、今年ノ稅ヲドウスル、キマシテハ、ドウモ此ノ外ニウマイ方法ガナイト斯ウ云フ譯デアリマス、實用品ノ課稅ニ、實用品ト認メラル、物ガ課稅範圍ニスルノデ、出來レバ多少値段ハ高クテモ、丈夫デ立派ナ物ヲ買シテ置ク方が得ト、斯段階ニナッテ參リマスルト云フト、一概ニサウウ云フコトハ確カニ言ヘルノデアリマスルガ、

トシ、又此ノ課稅最低限ニ付テモ据置ヲ致シテ居リマシテ、只今御述ニナリマシタ帽子ノ如キモノモ從來一箇三圓ニナッテ居リシテ、モウ是以下ゲルノハドウカト思ルヤニ思ハレル、一ツ特ニ伺ヒタイノハ今度羽毛ヲ加ヘラレタコトデアリマス、羽毛ヲ云フコトハナカノ实行ガ困難デアリマシテ、差當リ支出スル其ノ支出金額ニ依リ度羽毛ヲ加ヘラレタコトデアリマス、羽毛ヲ云フモノハ贅澤ニ使ハレル場合モ成ル程アリマシタ、モウ併シ斯ウ綿ガナクナッテ來レバ是ガ棉花ノ代用品ニナリ、今ハ必要品ダト私ハ認メテ居ル、併シソンナラバ必品デアルトスレバ、故ラ課稅ヲセラレルダケヲ御伺ヒ致シマス  
○政府委員(松隈秀雄君) 只今ノ御意見ハ誠ニ御尤ノ點ガアルノデアリマシテ、我々ノ私生活ニ於キマシテモ値段ガ安イダケデ、アツテ、耐久性ガナイト云フコトデアリマスレバ、サウ云フト物貿ト云フコトハ大局的見地カラ見レバ損ニナルコトデアリマス、從ヒマシテ御説ニ同感ノ點ハアルノデゴザイマスルガ、今年ノ稅ヲドウスル、キマシテハ、ドウモ此ノ外ニウマイ方法ガナイト斯ウ云フ譯デアリマス、實用品ノ課稅ニ、實用品ト認メラル、物ガ課稅範圍ニスルノデ、出來レバ多少値段ハ高クテモ、丈夫デ立派ナ物ヲ買シテ置ク方が得ト、斯段階ニナッテ參リマスルト云フト、一概ニサウウ云フコトハ確カニ言ヘルノデアリマスルガ、

テ見マスルト、蒲團綿へ一號品デアリマン  
テモ百匁一圓八錢又ハ一圓四錢程度ニナツ  
テ居リマスガ、精撰羽毛デ水禽ノ羽毛ハ一  
等品ニナリマスルト百匁四圓六十五錢、二  
等品ハ百匁三圓二十五錢、三等品ハ百匁二圓  
十五錢、一番惡イ四等品デ百匁一圓ト云フコ  
トニナツテ居リマスルノデ、大體ニ於テ綿ヨ  
リモ高ク、從テ之ヲ購入致シマス者ハ擔稅力  
ガアルト云フコトガ言ヘルト思フノデアリ  
マス、同ジク羽毛デアリマシテモ、雞ノ羽  
毛ニナリマスルト一等品デ百匁五十錢、二  
等品デハ百匁三十錢ト云ツタヤウナ極ク安  
イモノニナツテ居リマシテ、是等ハ蒲團綿ヨ  
リモ安イ位ノモノデアリマスルノデ、羽毛  
ニ付キマシテハ免稅點ヲ百匁一圓ト致シマ  
シテ、水禽類ノ羽毛デアレバ課稅スルケレ  
ドモ、雞ノ羽毛ノ如キモノハ課稅外ニ置ク  
ヤウニ考慮ヲ拂ツテ居ル、次第デアリマス、  
尙蒲團綿ガ段々供給サレナクナツテ來テ、好  
ムト好マザルニ拘ラズ、羽毛ヲ用ヒナケレ  
バナラスト云フヤウナ狀況ニナツテ參リマス  
レバ、其ノ時ハ或程度考慮ヲ要スルト思ヒ  
マスルガ、現狀ヲ以テシマスレバ、先ヅ大  
體ニ於テ羽毛ハ蒲團綿ヨリモ擔稅力ノ多イ  
連中ノ消費スルモノト認メラレマスルノデ、  
今回一應ノ免稅點ヲ置キマシテ課稅ヲスル  
コトニ致シタヤウナ次第デアリマス

フモノハ個人ノ負擔ト云フコトヨリモ、寧ロオ役所關係ノ、會社ナドガ一番此ノ方ニ用ヒラレテ居ヤシナイカト思フノデアリマス、色々ナ關係ガアリマセウガ、事實サウト、斯ウ云フ金ハ皆政費ニナツテ掛ケラレテ來ル、幾ラ稅ヲ高クシタツテ止メル氣遣ヒガアリマセヌ、ソレハ結局自分ノ懷ニ入テ來ルノデスカラ、出シテモチットモ惜シマナイ、幾ラ稅率ヲ上ゲラレテモ平氣グラウト思フ、此ノ點ハドウ云フ風ニ御覽ニナリマスカ、或ハ事實私ノ見テ居ル所ガサウデナイノカモ知レマセヌガ、ドウモサウ云フヤウニ思ハレマスカラ其ノ點ヲ伺ヒタイ、尙入場稅ニ付キマシテハ收入主義、擔稅力ト云フコト一點張リデオイデニナレバアノ通リデスクレドモ、私共ハ此ノ戰時下デスカラ、思想問題ト云フヤウナモノニ付テハケレバナラヌシ、健全娛樂トソレカラ不健全娛樂ト云フモノハ、ソレハナイデセウガ、ソレ程デモナイト云フヤウナモノニ付テハ多少ノ區別ヲ置カレル必要ガアルマイカト思フノデアリマス、健全娛樂方如何ナルモノデアルカト云フコトハ、人ニ依ッテ意見モ違ヒマセウガ、大體指ス所ハ似テ居ルコトト思ヒマス、此ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス、尙特別行爲稅ト云フノガアリマスガ、是モ只今申述ベタヤウニ實用上シナケレバナラヌモノ迄モ含シ居ル、是モ今仰シヤッタヤウニ彈力性、サウ云フコトヲスルカラ其處ニ彈力性ガ出テ來ルカラ課スルノダト云フ建前ヲ採ル以上ハ、仕方ガナイト云フ御辯解入デ取ルト云フコトモ如何ナモノデアラウ

カ、贅澤ナノハソレハ仕方ガナイケレド  
モ、贅澤デナクヤルヤウナモノハモウ少シ  
細カク區別シテ、餘リニヤリ方ガ割一的デ  
アリマスノデ、モウ少シサウ云フヤウナ點  
ヲ細カニ分ケル必要ガアルマイカト思ヒマ  
ス

〔委員長伯爵酒井忠正君委員長席ニ復  
ス〕

尙序ニ五條ノ四、「教科用圖書及新聞紙法  
ニ依ル新聞紙ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノ  
ニ付爲ス第一條第六號ニ掲タル行爲」、斯ウ  
アリマスケレドモ、是ハ如何ナル範圍ヲ指  
シテ居ラレルノデアリマセウカ、例ヘバ專  
門ノ圖書或ハ專門ノ雑誌ト云フヤウナモノ  
ハ、ドウセ是ハ營利ノモノヂヤアリマセヌ  
シ、又教化物トシテモ非常ニ世道人心ヲ指  
導スル上カラ言ツテモ、外ノモノトハ特別ニ  
見ルベキモノデナイカト思ヒマスガ、此ノ  
中ニ含マレテ居ルノデセウカ、居ナインデ  
セウカ、其處ノ點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(松隈秀雄君) 第一ノ御尋ハ、  
遊興飲食稅ヲ實際負擔シテ居ル者ハ個人ヨ  
リモ會社ガ多イノデハナイカ、別ノ言葉デ  
申上ゲマスレバ、會社ノ經費ニ於テ遊興飲  
食稅ノ掛ルヤウナ宴會ヲ多クヤツテ居ルノ  
デハナイカト云フコトデアリマスガ、之ニ  
付キマシテハ資料ヲ持ッテ居リマセヌカラ  
シテ的確ナ御答ハ出來ナイノデアリマス、  
資料ヲ取リマシテモ、支拂ガ個人名義デア  
ルト致シマシテモ、其ノ個人ノ「ポケット・  
マネー」デアルカ、或ハ會社ノ方ニ附ケテ廻  
等ノ宴會ガ多ク、ソレガ比較的世間ノ眼ニ  
アリマスルカラ、此ノ點ノ調査ハ餘程困難  
カト思シテ居ルノデアリマス、唯或程度會社

著キ易イ爲ニ大キク映ツテ居ルト云フヤ立  
ナ點ハゴザイマスヤウデアリマス、此ノ點  
ニ付キマシテハ午前ニ於キマシテ大藏大臣  
カラモ御話ガアリマシタヤウニ、今後會計  
經理統制令ノ運用等ニ當リマシテ十分考へ  
マスルト共ニ、一方國民全體ト致シマシテ、  
此ノ際戰時生活ニ徹底セシメルト云フヤ  
ウナ風ニ留意シテ參リマシテ、御述ニナリ  
マシタ弊害ノ是正ノ點ニ付キマシテハ、政  
府モ慎重ナル注意ヲ拂ツテ參ルヤウニ致シ  
タイト思ツテ居ルノデアリマス、次ニ入場稅  
ノ増徵ニ當リマシテハ、健全娛樂トサウデ  
ナイモノトニ付テ何等力考慮ガ拂ハレテ民  
ルカト云フ御尋ネデゴザイマスルガ、健全  
娛樂ナリヤ否ヤト云フコトハ、時ニ判定ノ  
困難ナ問題ガアリマスルガ、映畫ノ如キモ  
ノハ、人ニ依リマシテハ或程度ニ之依シテ簡  
易ニ慰安ヲ得テ氣分ノ轉換ヲ圖ルト云フヤ  
ウナコトニナシテ、必要ナモノトモ言ハマス  
ルシ、又「ニュース」映畫ノ如キモノハ斯聞難  
易ニ讀ムト似タヤウナ意味ニ於キマシテ、  
今日ノ知識ヲ涵養スル上ニ於テモ必要ナコ  
トデアリマスルノデ、是等ニ付キマシテハ或  
程度ノ考慮ヲ拂フコトニ致シタノデアリマス  
、即チ入場稅中、第一種ノ場所ニ於キマ  
スル一人一回ノ入場料方五十錢未滿ノ場合  
ニ於キマシテハ稅率ヲ特ニ据エ置イテ居リ  
マス、映畫館ノ實情ヲ調査シタ所ニ依リマス  
ルト云フト、一人一回入場料ガ五十錢未  
滿ト云フモノハ、全體ノ入場人員ノ八割ニ  
ナシテ居リマス、ソレデアリマスルカラ映畫  
館ニ入ル人員ノ八割ハ今回ノ增徵ガ据エ置  
カレテ居ル、斯ウ云フコトニアリマスルノ  
デ、此ノ點ハ相當考慮ガ拂ヘレタト言ツテ宜  
シカラウト思フノデアリマス、同ジ映畫館デ

アリマシテモ五十錢以上ニナルト云フヤウナ消費ヲ致シマストスレバ、是ハ此ノ際トシテハ或程度ノ増徵モ已ムヲ得ナイノデヘナイカト思フノデアリマス、次ニ特別行爲税ニ付テノ御質問デアリマシテ、特別行爲税ヲ起スコトハ已ムヲ得ナイト致シマシテモ、此ノ際戰時下ニ於テモ尙或程度必要ナスウ云フ御懸念デアリマスルガ、此ノ點ニ付キマシテハ免稅點ヲ設ケルコトニ依ツテ相當考慮ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、例ヘバ寫眞ノ撮影デアリマスルト、一組ノ料金一圓五十錢未滿ハ課稅致サヌト云フコトニ致シテ居リマスルノデ、證明用等ニ使ヒマスル小サイ寫眞ハ大概課稅ニナラヌト思フノデアリマス、ソレカラ整髮美容ニ致シマジテモ、一回ノ料金一圓未滿ハ課稅外デアリマスガ、大體ノ状況ヲ見マスルト、一圓以上ノモノハ比較的割合ガ少イヤウデアリマス、殊ニ男ニ於テハ理髮ノ料金ガ一圓以上ト云フノハ極ク僅カノヤウニ思ハレマス、ソレカラ染色ニ致シマシテモ、新規ノモノハ五圓ト致シテ居リマスルケレドモ、更生衣類ノ染替ノヤウナモノニ付テハ特ニ十圓ニスルコトニ考慮ガ拂ハレテ居ルヤウナ次第デアリマス、其ノ他洋服ノ仕立等ニ付キマシテモ、ソレヽ細カナ免稅點ヲ置イテアルヤウナ次第デアリマス、ソレカラ次ニ印刷、製本ニ付テノ免稅ノ範圍デゴザイマスルガ、第五條ノ四ニ書イテアリマスルノハ、文部省ニ於テ著作權ヲ有スル教科用圖書竝ニ教科用圖書檢定規則ニ依リ検定ヲ受ケタル教科用圖書、ソレカラ新聞紙法ニ依ル新聞紙ニシテ月六回以上發行スルモノト、斯ウ云フ風ニ致シタイ考デアリマス、ソコ

デ御尋ニナリマシタ専門的ノ圖書雑誌デアリマシテモ、只今申上ゲタ範圍ニ入ラナイモノ、多クハ入ツテ居ラヌト見テ差支ナイト思フノデアリマスガ、ソレニ課税ノ範圍ニ入ル譯デアリマス、ソレハ多少酷ノヤウナ感ジモ致シマスルガ、課税ノ割合ハ極メテ低イモノデアリマシテ、例ヘバ一圓程度ノ單行本ニ付キマシテ今回實施致シマスル課税ノ影響ヲ考ヘテ見マスルト、紙ニ對シマスル物品稅ノ増徵額ト、今回ノ特別行為稅ノ課稅額トヲ合セマシテ、價格ニ對シテ七分六厘程度ニシカ響カナイ譯デアリマス、五十錢程度ノ雜誌ニ付テ調べテ見マスルト、同ジク紙ニ對スル物品稅ノ増徵、ソレカラ特別行爲稅ノ負擔等ヲ合計致シマシテ、價格ニ對シマシテハ三分四厘程度ノ影響デアリマスノ、此ノ程度デアルナラバ負擔ヲ忍シデ戴ケルノデハナイカ、斯様ニ存ジテ居ル譯デアリマス

ル位ノ程度ニハ樂ニ分ラウト思ヒマス、健全娛樂ト云フコトハ、安イ娛樂ヲ仰シヤ  
イマシタケレドモ、必ズシモ安イ娛樂バカリデヤナイ、色々ノ娛樂ノ中ニ斯ウ云フモ  
ノガ入ツテ來ルダラウト思フノデス、物品稅ニ付テモ言ヘマスケレドモ、尙此處等ノ點  
ハ一ツノ物ノ實質ニ付テ御考ヲ願ヒタイト  
思ヒマス、ソレカラ今ノ特別行爲稅ニ付テ  
最低限ヲ仰シヤマイシタケレドモ、最低ヲ  
超エルモノニシタツテ實用ノモノガアル、  
寫眞一圓五十錢ヂヤ少々可哀サウナ場合モ  
アル、ソレハ普通ノ場合ニハナイカモ知レ  
マセヌガ、或程度ニハナイトモ言ヘナイ、サ  
ウ云フヤウナコトモゴザイマスシ、尙最後  
ノ御話ノ專門書、專門雜誌ニ付キマシテハ、隨  
分種類モ多イシ、ソンナモノヲ一々御決メニ  
ナシテハ煩ハシクテ却テ厄介ヂヤアリマス  
マイカ、三分位ノモノナラ全部負ケテシマッ  
タラドウデスカ知ラン、初メノ飲食稅竝ニ  
入場稅ニ付テハ御答ハ要リマセヌガ、最後  
ノ專門書ノコトニ付キマシテハ御答ヲ願ヒ  
タイト思ヒマス、是ハ總務局長ガ御答ニナ  
リマシテソレカラ後デ宜シウゴザイマス  
○政府委員(松隈秀雄君) 特別行爲稅ニ付  
キマシテ特ニ考慮ヲスルヤウニト云フコト  
デゴザイマスルガ、特別行爲稅ノ收入見込  
額ト致シマシテハ約七千萬圓見テアルノデ  
アリマスルガ、印刷及製本ニ付キマシテハ、  
個々ノ場合ノ負擔ハ、先程申上ゲマシタヤ  
ウニ、極メテ僅カデアリマシテ、其ノ歩合  
モ大シタ割合デハナインデアリマスルガ、  
全體ノ稅收入ハ約千八百萬圓ニ及ンデ居ル  
ヤウナ譯デアリマスルノデ、印刷、製本ニ  
付キマシテ、僅カデアルトハ言ヒナガラ之  
ヲ除イテ行クト云フコトニナリマスルト、

特別行為税ノ收入、相當影響ガゴサイマスルノデ、是ハナカノ困難ナ問題デアリマシテ、結局或程度ノ負擔デアリマスルカラソレハ「ページ」ヲ減ズルナリ、或ハ裝幘其ノ他デ經費ヲ節約スルナリシテ賄フナリ、或ハ已ムヲ得ナケレバ定價ヲ少シク變ヘルト云フコトデ、此ノ際ハ忍ンデ戴キタイト斯様ニ思ヒマス

○橋本辰二郎君　國民所得ノヤウナ廣汎ナル統計ノ困難ナルコトハ、私モ承知ヲ致シテ居リマス、是ダケノ所得ヲ彈キ出スニ付キマシテハ、相當ナ御苦心ガ存シタ云フコトモ私ハ分ッテ居リマス、又數字ハ示スコトガ出来ナイト云フ、是モ亦已ムヲ得ヌト思ヒマスガ、無論是ハ國民所得ト申シマスノデ、政府ノ事業ニ依ル所ノ利益ハ、之ニ包含シテ居ラヌモノト心得マスガ、左様デゴサイマスカ

○政府委員(迫水久常君)　所得ノ中ニ入ッテ居リマス

○橋本辰二郎君　例ヘバ專賣ノ利益トカ、營林ノ利益トカ、サブ云ウヤウナモノモ入ッテ居ルノデスカ

○政府委員(迫水久常君)　入ッテ居リマ

○橋本辰二郎君　ソレカラ大雜把ナヤリ方デハアリマスガ、國內ノ生産ノ總額ヲ調べテ之ニ要スル直接費、間接費ヲ控除シタモノヲ以テ利益トスルト云フヤウナ方法ハ執ラヌモノデアリマスカ

○政府委員(迫水久常君)　此處ニ申シテ居リマス國民所得ト云フコトハ、例ヘテ申シマスルト、假ニ日本全國民經濟ト云フモノ、一つノ生産體トシテ考ヘマシタ場合ニハ、其ノ生産體ハ丁度一つノ會社ト頭ニ御

考へ下サレバ結構デアリマスガ、其ノ會社ガ生産シタモノカラソレニ要スル所ノ費用ヲ差引イタ残デアルノデアリマス、即チ會社ノ利益金ト同ジヤウニ國民經濟全體ヲ一ツノ生産體ト考へマシタ場合ニ於テハ、國民經濟全體ノ總生產カラソレニ要スル所ノ費用ヲ差引イタモノ、ソレガ國民所得デアル、斯ウ觀念ヲ致シマス、從ヒマシテ基本ノ上ニ於キマシテハ御説ノ方法ヲ執ルベキデアルノデアリマスケレバ、現實ニ計算ヲ致シテ參リマスル場合ニ於テハ統計資料ノ關係上、他ノ方法ヲ執ルヲ得ナイ譯デアリマス

○橋本辰二郎君 所得階級以下ノ俸給、若シ

クハ勞銀等ニ付キマシテハ此ノ調査ガ大變困難ト思ヒマス、サウ云フ御話モアリマシ

タガ、ソレ等ノ詰リ人目的所得ト云フモノニ付テハ相當脱漏、遗漏ト云フモノガアラウト思ヒマスガ、左様ニ御考ニナリマスカ

○政府委員(追水久常君) 國民所得ノ計算方法ヲ人の方法ニ依リマスル場合ニハ、御

説ノヤウニ所得税ヲ納メナイ階級ノ者ニ付

テハナカク把握ガ困難デゴザイマス、併シソレハ何處迄モ推定デヤルノデアリマシ

テ、其ノ推定ノヤリ方ガ強ク參リマスレバ、

或ハ實際ノ所得ヨリモ多ク出マセウシ、推定ノ勘ガ弱ク行キマスレバ、實際ヨリモ脱漏シテ居ルト云フコトニナルト思ヒマス

○橋本辰二郎君 此ノ問題ハナカク重大

ナ問題デアリマシテ、細カクヤリマスト限

リガアリマセヌノデ、大抵政府ノ現ニ行ハ

レテ居ラレル所ノ方法ト云フモノヲ了解致

シマシタ、併シ財政ノ對象トナルモノハ國

民所得デアリマスカラ、苟クモ財政計畫ヲ立テル者ハ國民所得ヲ頭ニ置イテ置カナイ

マスコトニ付キマシテハ長イ間ノ問題デモ

出来得ル限リハ國民所得ノ統計ニ付テ正確

ヲ期スル方法ヲ御研究ニナリマシテ、今後

租稅ガ幾ラ増シテモ、其ノ負擔ガ堪ヘルト

云フヤウナ實ハ統計ヲ私ハ見タイト希望ス

ルノデアリマス、此ノ五百億ト云フモノハ過去ニ發表セラレタモノカラ較ベテ見マス

スノデ、モウ少シ正確ニ御調べニナリマシ

タナラバ、マダ五百億以上ノ高ニ達スルコトハ決シテ困難デハナラウト思ヒマス、

從ツテ財政計畫ヲ御立てニナル上ニ於テモ非

常ニ容易ニ行ハレルデハナイカト思ヒマシ

テ、將來統計ニ從事セラレル場合ニ於キマシテハ、尙一人御研究、御努力ヲ願ヒマシ

シテハ、私ノ質問ヲ終リマス

○子爵大河内輝耕君 私ノ質問ヲ續ケテ宣

チヲ願ヒマス、速記ヲ止メテ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ始メ

テ、安宅サンニ申上グマスガ、安宅サンニ

對スル御答辯ヲ主計局長カラ致シマス

○政府委員(植木康子郎君) 過日安宅委員

テ、御質問ガゴザイマシテ、大藏次官ガ御答

ニナツテ居リマスカラ、御参照ヲ御願ヒシ

シテ過日貴族院ノ決算ノ第一分科デ矢張

リ御質問ガゴザイマシテ、大藏次官ガ御答

ニナツテ居リマスカラ、御参照ヲ御願ヒシ

タイト思ヒマス、大體サウ云フ風ニナリマ

シタ筋道グケヲ極メテ簡單ニ搔イ摘ンデ申

上ゲタイト思ヒマス、國庫出納金端數計算

法ト申シマスノハ大正五年ノ古イ法律デ

ゴザイマシテ、此ノ法律モ原則ト致シマス

ル所ハ錢位未満ノ端數ヲ省略シヨウト云

フ所ニアルノデアリマス、處ガ其ノ第五條

ニ於キマシテ「法律ニ別段ノ定アルモノノ

外本法ヲ適用セサルモノハ命令ヲ以テ之ヲ

定ム」ト云フヤウナ條文ガゴザイマシテ、

特定ノ場合ニ於テハ端數計算ヲスルト云フ

コトヲ態々書イテゴザイマス、態々其ノ計算

ヲスルト云フコトガ書イテアルコトニ依ッ

テ、端數ト云フモノガ決算上出テ來ルノガ

コトヲ御答ヘ申上ガテアリマス、從ツ

テ結果ガドウナツテ居ルノダラウカト云フ

御質問ト拜承致シマシタガ、結論カラ先ニ

申上ゲマスト方法ト致シマシテハ、現在ノ

國庫出納金端數計算法、此ノ法律ヲ改正致

シマシテ、場合ニ依リマスト云フト貨幣

法其ノモノノ改正ヲモ伴フカモ知レナイン

デアリマスガ、其ノ改正ヲ致シマスルノガ

一番スッキリシタ解決方法ニ相成ルノデア

リマス、ソレカラ第二ノ方法ト致シマシテ

ハ、現行ノ法律ノ範圍内デ勅令ノ改正ヲ致

シマシテ善處スルト云フ方法ガゴザイマス、

スッキリシタ抜本塞源的ナ方法ト致シマシ

テハ法律改正ヲ要スルノデアリマスガ、

今回ハ政府ノ考ヘ方ト致シマシテハ法律改

正ノ方法ニ依ラナイデ、第一ノ勅令ヲ或ル程

度改正致シマシテ善處ショウト云フヤウナ

大體ノ今ニ心持デ居リマス、尙本件ニ付キマ

シテ過日貴族院ノ決算ノ第一分科デ矢張

リ御質問ガゴザイマシテ、大藏次官ガ御答

ニナツテ居リマスカラ、御参照ヲ御願ヒシ

タイト思ヒマス、大體サウ云フ風ニナリマ

シタ筋道グケヲ極メテ簡單ニ搔イ摘ンデ申

上ゲタイト思ヒマス、國庫出納金端數計算

法ト申シマスノハ大正五年ノ古イ法律デ

ゴザイマシテ、此ノ法律モ原則ト致シマス

ル所ハ錢位未満ノ端數ヲ省略シヨウト云

フ所ニアルノデアリマス、處ガ其ノ第五條

ニ於キマシテ「法律ニ別段ノ定アルモノノ

外本法ヲ適用セサルモノハ命令ヲ以テ之ヲ

定ム」ト云フヤウナ條文ガゴザイマシテ、

特定ノ場合ニ於テハ端數計算ヲスルト云フ

コトヲ態々書イテゴザイマス、態々其ノ計算

ヲスルト云フコトガ書イテアルコトニ依ッ

テ、端數ト云フモノガ決算上出テ來ルノガ

コトヲ御答ヘ申上ガテアリマス、從ツ

テ其ノ勅令ノ部分ヲ、斯ウ云フモノハ端數

計算ヲスルト云フコトヲ書イテアル其ノ

勅令ヲ廢止致シマスレバ、自ラ決算上ニ厘

位ガナクナル譯デアリマス、處ガソレデド

ウシテモマダ解决出來ヌ場合ガ起

ト申シマスノハ、例ヘバ相續人ノ曠缺ト云

フヤウナ場合ニハ結局其ノ財產ガ國ニ歸

屬致シマスガ、假ニ其ノ財產ニ厘位ガアッ

タト致シマスト、法律ノ定メニ依ッテ國ノモ

ノニナリマスカラ、假ニ厘位ガアリマシテ

モ厘位ヲ切り捨テ、國ガ貰フ譯ニハ行カナ

タト致シマスト、法律ノ定メニ依ッテ國ノモ

ノニナリマスカラ、假ニ厘位ガアリマシテ

モ厘位ヲ切り捨

クノ場合、貨幣交換差減、即外國貨幣ト日本貨幣トノ交換問題、外國へ送金ノ場合或ハ外國デ國ノ收入ニナリシタモノヲコチラヘ取寄セマス場合、サウ云フ場合ニ厘位ガ起ツテ來ルノガ一番多イノデアリマス、從ツテ此ノ部分ガ何故起ルカト云フト、今申上ゲマシタ勅令ノ中ニ「外國貨幣ヲ基礎トル收入金及支拂金」ト云フモノガ特掲致シテゴザイマシテ、態、厘位計算ヲシロト云フコトヲ命ジテ居リマス、從ツテ之ヲ改正致シマスレバ、其ノ部分ニ付テヘ一般ノ商慣習ニ從ヒマシテ厘位ノ計算ヲ止メテ宜シトイ云フコトニナリマスカラ、決算面カラ斯ウ云フ部分ニ關スル限リハ厘位ガナクナツシマフ、斯ウ云フコトニ相成リマス、尙其ノ外ニ色々ナ場合ガゴザイマシテ、一々申上げル煩ヘ省キマスガ、其ノ勅令ノ中ノ矢張リツノ項目ニ「法令ニ依リ當然國庫ニ歸屬スル收入金」ト云フヤウナモノガゴザイマス、是ガ今申上ゲマシタ相續人曠缺ノ場合ノ例ニ當ルノデアリマス、或ハ遺失物法ニ依リマシテ五厘錢ガ落チテ居ツタ、其ノ五厘錢ヲ警察ニ届ケタ、警察ニ届ケタガ、落主ハ結局分ラヌ、拾主モ自分ハ要ラストコウ言テ権利ヲ拋棄シマシタ場合ニヘ、五厘錢ハ矢張リ國ノ收入ニ舉ゲナケレバナラスト云フコトニナルノデアリマス、サウ致シマスト此ノ勅令ヲ廢止シテ、ソレデ五厘ト云フモノノ行方ヲドウシタナラバ宜シイカトニ五厘デモ法規ノ定ムル所ニ依ツテ國庫ノ收納デアルト云フコトガ書イテアルト、五厘ノ收納ヲ歳入トシト言ツテ居リマスカラ、假ノ收納スル途ヲ講ジテ置カナケレバナラヌ、

ソレナラバ五厘ヲ溜メテ置イテ、又次ノ五厘ガ出テ來タ場合ニ、合セテ一錢ニナシタ時、初メテ國庫ノ收納ニシタラ宜イノデナイカト云フ議論ガ起リマスガ、サウスルト會計法ノ上デ法律又ハ勅令ノ定ムル所デナケレバ政府ハ特別ノ資金ヲ持ツコトガ出來ナイト云フコトニナシテ居リマシテ、假ニ五厘ト雖モ特別ノ金ヲ持ツコトガ出來ナイコトニナル、尤モ勅令デ以テ適當ニソレニ善處スル方法ガ考ヘ得ルノデナイカト思シテ、今善處ハシヨウト思シテ居リマスガ、今迄ニ勅令ノ定ムル所ニ依ツテ特別ノ資金ヲ政府ハ持ツテ居ルモノハ一ツモナイ、必ズ法律ノ定ニ依ツテ資金ヲ持ツト云フコトハ致シテ居リマスガ、サウ云フ關係モゴザイマスノデ、果シテ勅令ノ改正ダケデ完全ニ決算上ノ厘位ヲナクシ得ルカドウカ、稍疑問ノ點ガゴザイマス、併シ成ルベク之ヲ何等カノ方法デ善處致シマシテ、厘位ガ出ナイヤウニシヨウト云フ含ミデ今大體進ンデ居リマス、何故今回ノ議會ニハツキリシタ方法デ法律改正ノ案ヲ出サナカッタノカト云フ點ニ付キマシテハ、申上ガマス迄モナク今回ノ議會ガ戰時ニ於ケル非常ニ重要ナ議會デモゴザイマス、斯ウ云フ際ニ成ルベク本當ニ戰アリマスガ、此ノ際トシテハ見合セヨウト時緊要ナル法律或ハ豫算案ノミニ止メヨウト云フコトニナリマシテ、第一ノ方法ニ依ツタノデ、實ハ或程度ノ用意ハシテ見タノデアリマスガ、此ノ際トシテハ見合セヨウト善處スルト云フコトニ相成ッタ次第アリモ、昭和十七年度ト致シマシテハ矢張り厘位ガ載ツテ居リ マスカラ、來年ノ議會ニ出

マス所ノ決算ノ上デハ矢張リ厘位ガ減<sup>マテ</sup>  
居ル、斯ウ云フ結果ニ相成リマス、幸ニシ  
テ今申シタ通り完全ニ厘位ヲ如何ナル科目  
カラモ全部省クコトガ出來ルヤウニナリマ  
スレバ、決算上ハ次ノ次ノ議會ノ時カラ概  
ネ厘位計算ナシ<sup>シ</sup>行ケルコトニラダラ  
ウ、斯ウ云フ風ニ考へラレル次第デアリマ  
ス、ソレカラ第一ノ問題ノ價格差補助金ガ  
十八年度豫算デドレ位ニナッテ居ルダラウ  
カト云フ御質問ニ對シテ、御答ヘ申上<sup>ゲ</sup>マ  
スガ、昭和十八年度ノ豫算ニ於キマシテ物  
價調整ノ意味カラ價格差ヲ補助スルト云フ  
金ハ、一般會計ニ於キマシテハ概ネ八億六  
千萬圓程度デ<sup>ゴ</sup>ザイマス、更ニ特別會計ニ  
於キマシテ、是ハ何レモ外地特別會計デア  
リマスガ、朝鮮、臺灣、樺太、關東、此ノ  
四ツノ特別會計豫算等ニ於キマシテ一億二  
千萬圓見當ノ價格差補助金ガ載<sup>ツ</sup>テ居リマ  
ス、兩方合セマシテ九億八千萬圓程度ノ價  
格差補助金ガ載<sup>ツ</sup>テ居ルノデアリマス、今申  
上<sup>ゲ</sup>マシタ一般會計ノ八億六千萬<sup>ノ</sup>ハ特別  
會計ノ一億二千萬ト云フ此ノ價格差助成金  
ハ、取り方ニ依リマシテ若干ノ異動ヲ生ズ  
ル性質ノモノデアリマス、即チ價格差ノ助  
成金ト申シマシテモ、例ヘバ米ノ生產獎勵金  
デアリマストカ、石炭ノ價格差獎勵金デアリ  
マストカト云フヤウナ風ニハッキリ價格差  
補助金ト云フコトガ分<sup>ツ</sup>テ居リマス部分ト、  
稍<sup>シ</sup>其ノ性質ガ果シテ價格差補助金ト言<sup>ヒ</sup>得ルモノデ  
アルカドウカ、曖昧ナ性質ノモノモ<sup>ゴ</sup>ザイ  
マスノデ、其ノ爲ニハッキリシタ數字ヲ申  
上<sup>ゲ</sup>兼ネルノデアリマス、今申上<sup>ゲ</sup>マシタ

來年度豫算一般、特別ヲ通ジテ九億八千餘萬圓ト云フノハ、大體ニ於キマシテ價格差補助金デアルコトガ性質稍、明瞭ナモノノミヲ掲ゲマシテ此ノ程度ニ相成リマス、從ラ其ノ外ニ所謂生產費ガ高ク付クカラ、ソレニ對シテ補助金ヲヤラウト云フ式ニ補助金ガ載ツテ居ルモノ尙相當アルト云フコトヲ御含ミ置キ願ヒタイト思ヒマス、尙足リマセヌデシタラ御答ヘ申上ゲマス  
○安宅彌吉君 大變結構デアリマシタガ、厘位切捨ト云フコトニ付テヘ今後御考慮ニナルト云フコトニ了解シテ置イテ、先ヅ出来得ルト、幾ラカ年限ガ掛ルト云フダケノ考ヘ方デ宜イノデセウカ、ソレヲ承ツテ置キタイ

○政府委員(植木庚子郎君) 御推察ノ通りト致シテ宜シイト思ヒマス

○安宅彌吉君 昨年商工省ノ方ニ質問シタノデアリマス、厘位ハ實際政府デヘ御用ヒニナシテ居ルノデスカト言ッタ時ニ、皆サン御協議ニナシテ、多分日本銀行ニアルダラウト云フコトデ私ハ質問ヲ打切ッタノデスガ、實際サウ云フオ金ヲ御用ヒデスカ、正金銀行カラ御取立ガ出來ルノデスカ

○政府委員(植木庚子郎君) 實際上ノ問題ト致シマシテハ、サウ云フ金デノヤリ取りガ殆ド行ハレテ居ラナイカト思イマス、唯單ニ帳簿上ノ付ケ替ヘノ問題デソレガ起ツテ居ルト大體了承シテ居リマス

○安宅彌吉君 其ノ問題ニ關聯シマスガ、關西ニハアリマセヌガ、關東ニ第百銀行其ノ他貯蓄銀行デ二箇所厘位ヲ用ヒテ居ル所ガアリマス、而モ或ル銀行デハ何デモ預金ト云フ勘定デ厘位ガアル、ソレハ利息ノ勘定デアリマスカ、ドウカ知ラヌケレドモ、

是ハ本當ノ計算上ノ遊戲デヤナイカト私ハ  
變ニ思ツテ居ルノデアリマス、ソレデドウ  
カ一ツ大藏省ノ御方針ナリニ依ッテ民間ノ人  
達モ非常ニ手數ヲ掛ケテ居ルト云フコトダ  
ケハ御承知置キ願ヒタイト思ヒマス、ソレ  
カラ先程チヨット觸レマシタ今ノ配當ノ計  
算上新株トカ舊株トカ云フモノノ厘位ヲ切  
捨テルト云フノト、厘位ハ切上げルノダト  
云フノト、兩方ノヤリ方ガ配當ノ支拂ノ上  
ニ會社ヤ銀行ニ依ッテ違フノデアリマス、  
切捨ト切上ト云フノト、ソレカラ新株・舊  
株ヲ寄セテ切捨ダトカ切上ダトカ、是ハ實  
ニ外ノ人ガ計算シテ、支配人ナリ上役ガ見  
テ居ルノナラバ何デモナインデスガ、是ガ  
日本ノ民間ノ何百萬ト云フ株主ガ此ノ計算  
ヲスルト云フコトハナカヽ大間題デアリ  
マス、ソレデ能ク交換ノ時ニ不渡ニナッテ  
來ルト、ベタヽヽ判ヲ澤山捺サナケレバナ  
ラス、計算ニ面倒デ後ニ又面倒ガ起ルト云  
フノデスカラ、ドウカ一ツ行政簡素化ト共  
ニ計算ノ簡素化トシテ厘位ハ總テ切捨テル  
迄、所得ガ殖エナイ人達モアル、是ハ増サ  
レテハ非常ナ苦痛ニナル、臨時利得式ノモ  
ノヲ御取リニナル方ガ稅法ノ建前トシテハ  
宜イト思フ、尤モ是ハ計數次第デアリマシ  
テ、サウ云フ風ナヤリ方ヲシタツテ結局同ジヤウナ  
改正案ノヤリ方ヲシタツテ居ルノダトスカ  
コトニナルト仰シヤレバ、ソレハソレデモ  
宜イ、實際計數ヲ戴イテ計算シタ譯デモア  
リマセヌカラ其ノ所ハ申上げ兼ネマスガ、  
斯ウ云フ風ニ御變ヘニナッタ理由ト、又實際  
ニ及ス影響トヲ伺ヒタイ

## ○政府委員(松隈秀雄君)

臨時利得税法ノ

改正ニ於キマシテ今回基準年度ノ基準利益  
率ト云フモノヲ廢止スルコトニ致シタノ  
デアリマス、御承知ノ通り現行ノ基準利益  
率ハ昭和九年、十、十一ノ三箇年ノ平均デ  
アリマスルノデ、超過利益計算ノ基準ト致  
シマシテハ相當古イ實績デアリマスコトガ  
第一點ト、ソレカラ現在基準利益率ヲ標準  
ニ使ッテ居リマスルガ、ソレヲ無制限ニ使ッ  
テ居ルノデハナインデアリマシテ、之ニ對

シマシテハ或種ノ制限ヲ置イテ居ル、即チ  
基準年度デアル昭和九年、十、十一ノ三箇  
年ノ平均利益ガ如何ニ高イモノデアリマシ  
テモ、其ノ儘之ヲ援用スルコトヲ認メナイ  
デ、例ヘバ基準利益率ハ一應ニ一割ヲ出ル  
ト、斯ウ云フコトニナリマシテモ、ソレヲ  
解説スル、サウスルト大體ノ考ヘ方ト致シマ  
シテ、臨時利得ト云フヤウナモノハ私ハ  
ナツテシマッテ、今度ハ超過所得トデモ言ヒ  
マスカ、サウ云フヤウナモノニナルト私ハ  
ト今日ノ利得トハ非常ナ違ヒデスカラ、假  
ニ昭和六七年デヤレタノダトスレバソレ以  
後ノ所得ハ取ラレタツテ、全部トハ行キマセ  
ヌガ、相當程度取ラレテモサウ苦痛ハナイ、  
又一方カテ言ヘバ昭和六年七年頃カラ今日  
迄、所得ガ殖エナイ人達モアル、是ハ増サ  
レテハ非常ナ苦痛ニナル、臨時利得式ノモ  
ノヲ御取リニナル方ガ稅法ノ建前トシテハ  
宜イト思フ、尤モ是ハ計數次第デアリマシ  
テ、サウ云フ風ナヤリ方ヲシタツテ居ルノダト  
スカ、改正案ノヤリ方ヲシタツテ結局同ジヤウナ  
コトニナルト仰シヤレバ、ソレハソレデモ  
居ル譯デアリマス、而モ此ノ基準利益率  
ヲ計算致シマスル爲ニ、事務的ニ申シマス  
ルト云フト計算ガ非常ニ煩雜ニナルノデア  
リマス、ソコデ行政簡素化ノ趣旨モ加ヘリ  
マシテ、此ノ際基準利益率ヲ廢止スルコト  
ニ致シタノデアリマスルガ、サレバト言ツ  
テ臨時利得ニ課稅スル建前ヲ棄テタト云フ  
コトデハナインデアリマシテ、矢張リ課稅  
スベキ現事業年度ニ於テ相當ノ利益ガアル  
ナラバ、法人稅ヲ取ル外ニ臨時利得稅ヲ課  
稅スルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマ  
シテ、唯其ノ計算ノ根據ト致シマシテ基準  
利益率ヲ援用シテ來ルコトヲ止メテ、簡單  
ニ最近ノ資本ニ對シテ幾ラニ廻ツテ居ルカ  
ト云フダケデ、矢張リ時局ノ影響ニ依テソ  
レダケ利益ガ膨レテ居ルノダト、斯ウ云フ  
コトヲ觀測シヨウト云フノデゴザイマス、  
増收見込額ニ付キマシテハ先日モ御尋ガア  
リマシテ、四千數百萬圓デアルト云フコト  
ス、尙一應御研究願ヒタイト云フコトダケ

ヲ申上ゲテ置キマス  
○子爵大河内輝耕君 デハ私ノ質問ヲ終ツ  
テ置キマス、臨時利得稅ノ基準ヲ御變ヘニ  
ナリマシタノデ、是ハ臨時利得稅デナク  
ナツテシマッテ、今度ハ超過所得トデモ言ヒ  
マスカ、サウ云フヤウナモノニナルト私ハ  
ト今日ノ利得トハ非常ナ違ヒデスカラ、假  
ニ昭和六七年デヤレタノダトスレバソレ以  
後ノ所得ハ取ラレタツテ、全部トハ行キマセ  
ヌガ、相當程度取ラレテモサウ苦痛ハナイ、  
又一方カテ言ヘバ昭和六年七年頃カラ今日  
迄、所得ガ殖エナイ人達モアル、是ハ増サ  
レテハ非常ナ苦痛ニナル、臨時利得式ノモ  
ノヲ御取リニナル方ガ稅法ノ建前トシテハ  
宜イト思フ、尤モ是ハ計數次第デアリマシ  
テ、サウ云フ風ナヤリ方ヲシタツテ居ルノダト  
スカ、改正案ノヤリ方ヲシタツテ結局同ジヤウナ  
コトニナルト仰シヤレバ、ソレハソレデモ  
居ル譯デアリマス、而モ此ノ基準利益率  
ヲ計算致シマスル爲ニ、事務的ニ申シマス  
ルト云フト計算ガ非常ニ煩雜ニナルノデア  
リマス、ソコデ行政簡素化ノ趣旨モ加ヘリ  
マシテ、此ノ際基準利益率ヲ廢止スルコト  
ニ致シタノデアリマスルガ、サレバト言ツ  
テ臨時利得ニ課稅スル建前ヲ棄テタト云フ  
コトデハナインデアリマシテ、矢張リ課稅  
スベキ現事業年度ニ於テ相當ノ利益ガアル  
ナラバ、法人稅ヲ取ル外ニ臨時利得稅ヲ課  
稅スルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマ  
シテ、唯其ノ計算ノ根據ト致シマシテ基準  
利益率ヲ援用シテ來ルコトヲ止メテ、簡單  
ニ最近ノ資本ニ對シテ幾ラニ廻ツテ居ルカ  
ト云フダケデ、矢張リ時局ノ影響ニ依テソ  
レダケ利益ガ膨レテ居ルノダト、斯ウ云フ  
コトヲ觀測シヨウト云フノデゴザイマス、  
増收見込額ニ付キマシテハ先日モ御尋ガア  
リマシテ、四千數百萬圓デアルト云フコト  
ス、尙一應御研究願ヒタイト云フコトダケ

ヲ申上ゲテ置イタノデアリマスルガ、臨時  
利得稅ノ總額ニ對シマシテハ、僅カ三分程  
度ノ增收ニ過ギナインデアリマスルカラ、  
其ノ影響ハ大シタコトハナイト言ヘルト思  
マスルト云フト、總法人數ガ約十萬九千バ  
ルコトヲ認メナイト云フ風ニシテ居リマ  
ス、又基準年度以降ニ資本ノ殖エマシタ增  
加資本ニ付テハ、モウ基準年度ヲ援用スル  
コトヲ認メナインデアリマシテ、增加資本  
ニ對シテハ一割ヲ超エタ利益ガアレバ、ソ  
レヲ臨時利得ト見テ課稅スルト、斯ウ云フ  
風ニシテ居リマスルノデ、基準利益率ト云  
フモノノ影響ト云フモノハ、餘程薄クナッテ  
マス  
○子爵大河内輝耕君 サウ致シマズト昭和  
六七年ハ餘リヒドidesガ、十年、十一年、  
十二年ト了承致シマシタ、ソレカラソレヲ  
基準トシテ臨時利得ヲ取ルコトハ止メテ、  
今度ハ他ノ意味デ臨時利得稅ヲ取ルト云フ  
コトニナリマスノデスガ、基準ノ適用ハサ  
カウモ知レマセヌガ、個人ニ依ッテ非常ナ差  
異ヲ生ジテ來ヤシマセヌカ、餘リ儲ラナイ  
デズシト續イテ來タモノハ、依然トシテ取ラ  
レテ來ル、サウデナクテ急ニ戰時ノ爲ニ好  
クナッタヤウナ者ハ、大シテ取ラレナイト云  
クヤウナコトデ、今迄ノ擔稅額ト改正後ノ  
擔稅額ガ人ニ依ッテ非常ナ高低ヲ起シテ來  
ヨウト思フノデスガ、實際ノ御調デドウデ  
ゴザイマセウカ、サウ云フ結果ハ已ムヲ得  
ナイト云フ御考デセウカ  
○政府委員(松隈秀雄君) 之ニ付キマシテ  
ハ具體的會社ニ付キマシテモ、或程度ノ調  
査ヲ致シテ居リマスルガ、個々ノ會社ノ名  
前ヲ舉ゲルノモ如何カト存ジマスルノデ、

一般的ナ例ト致シマシテ今回某準利益率ヲ  
廢止シタ場合ニ、法人ノ負擔が如何ニ變化  
スルカト云フ點ヲ見テミマスルト云フト、  
例ヘバ資本金百萬圓、利益率十五「パーセ  
ント」デアリマスル會社ヲ想像致シマスル  
ト云フト、利益金額ハ十五萬圓デアリマス、  
之ニ臨時利得税、法人税ガ掛リマシテ負擔  
は、五萬二千百二十五圓ナリマシテ、負擔

ナイヤウナ次第アリマス  
○子爵大河内輝耕君 今ノハ殖エル方デス  
ガ、臨時利得ガ非常ニ多クテ、例ヘバ十年  
十一年十二年ニ比シテ非常ニ利得ガ殖エテ  
居リマシタ者ガ、此ノ改正ニ依テ非常ニ

○中野敏雄君　臨時措置法ノ鑄業權ノ譲渡  
ノコトデチヨット同ニタイン、デスガ、先程ノ  
援用シテ居タモノガ負擔ヲ増スト云フダケ  
ノ改正デアリマス

○子爵大河内耀耕君　ソレデ、私ノ質問ヘ  
宜シウゴザイマス

ノ設備費又ハ改良費トス」ト規定シテゴザ  
イマス、從ヒマンシテ昭和十一年十二月三十  
一日以前ニ於テ持ツテ居リマス鑛業若シク  
ハ砂鑛業ニ關スル権利又ハ設備デアリマス  
レバ、同日ノ價額ヲ推定シマンシテ、ソレニ  
百分ノ五ヲ加ヘタ金額ヲ以テ取得價額トス  
ルノデアリマス、其ノ以後ノモノデアリマ  
スナラバ、現實ニ收得シタ賃額カラ先程申

シテ、法人税ハ臨時利得税ガ増ス結果、少  
率ハ三割四分七厘程度ニナルノデアリマス、  
改正後ニ於キマシテハ臨時利得税ガ増シマ  
シテ、法人税ハ臨時利得税ガ増ス結果、少  
シ減ルノデアリマス、サウシテ税額ノ合計  
ハ五萬九千六百二十五圓トナリマシテ、負  
擔率ハ三割九分七厘ト云フコトデ、負擔ノ  
増加割合ハ一割四分三厘程ニ出マス、是ハ  
相當影響ノ強イ方ノ例デアリマシテ、同ジ  
利益率十五「パーセント」ト致シマシテモ、  
例ヘバ五百萬圓ノ會社デ利益率十五「パー  
セント」ノ例ヲ取テ見マスルト云フト、利  
益金ハ七十五萬圓デアリマシテ、其ノ場合  
ニ於キマスル現在ノ税率ニ依リマスル稅負  
擔割合ハ三割八分七厘、改正後ニ於テハ負  
擔率ガ三割九分七厘ニナルト云フノデ、二  
分五厘程度シカ響カヌト云フコトニ相成ッテ  
居リマス、又今度ハ利益率ガ二十「パーセ  
ント」ノ會社ノ場合ヲ假定シテ見ルノデア  
リマスガ、是モ資本金五百萬圓ノ會社デアリ  
マスルト云フト、利益率二十「パーセント」  
ノ會社デアリマシテ、今回ノ改正ノ負擔ノ  
増加率ニ出マスガ、資本金五百萬圓ノ會社デアリ  
マスルト云フト、利益率二十「パーセント」  
相成ッテ居リマスルノデ、大體ニ於キマシテ  
影響ハ左程大ナルモノアリトハ認メテ居ラ

○政府委員(松隈秀雄君) 減ルモノハナイ  
譯デアリマス、此ノ改正ニ依ッテハ從來基  
カ私ハ考ヘ違ヒヲシテ居ルノデスカ、御話  
ヲ願ヒタイ  
○子爵大河内輝耕君 サウシマスト法人ノ  
方ハ殖エルバカリデ、其ノ爲ニ減ルト云フ  
モノハナインデスカ、チヨット考ヘルト超過  
所得ノ前ノヤリ方ニシタラモット多ク、斯ウ  
ナツタラ減ルト云フヤウニ思ヘレマスガ、何  
テ、基準利益率十五「パーセント」迄ハ援用  
出来ルト思フノニ拘ラズ、改正後援用出來  
ナクナルカラ負擔ガ増加スルトカ、或ハ利  
益率ガ二十「パーセント」デアッテ、基準年度  
ノ利益率トシテ十五「パーセント」ノ援用ガ  
出来タニ拘ラズ、ソレガ出来ナクナル爲ニ  
角擔率ガ增至スト云フ點ヲ申上ゲタ次第デア  
リマス、尙個人ニ付キマシテハ、基準利益  
率ヲ此ノ際廢止スルコトニ致シテ居リマセ  
ヌデ、依然昭和九、十、十一ノ三箇年ノ平  
均利益ト較ベテ殖エテ居リマスル場合ニ、  
臨時利得税ヲ課スルト、斯ウ云フ風ニ致シ  
テ居ルノデアリマス、是ハ法人ト異リマシ  
テ、資本金額ニ對シマスル超過額ト云フモ  
ノヲ見出スコトガ困難デアリマスル結果、  
已ムヲ得ザル所デアルト思ツテ居リマス

渡價格カラ取得價格ヲ引イタ其ノ差額ニ對シテ掛ケルノダト、斯ウ云フコトニナッテ尾ノデアリマスガ、其ノ取得價格ノ構成ノ要素デアリマスガ、例ヘバ石炭ノ豊富ニ出ル例ヲ取りマスト云フト、之ヲ原始的ニ取得シタ場合、其ノ場合ハ登録稅ダケヲ取得價格ト御覽ニナルノカ、ソレカラ又個人が非常ニ苦心努力ヲシテ石炭ノ存在ヲ明カニシタ、サウ云ツタ場合ニ、其ノ石炭ノ可採炭量ト云ツタヤウナモノヲ取得價格ニ御覽ニナルカドウカ、其ノ構成ノ要素ヲ具體的ニ伺ツテ見タイト思ヒマス

○政府委員(松隈秀雄君) 鑛業權ノ讓渡利得ノ計算ニ付キマシテヘ、臨時利得稅法第十一條ノ一二ニ譲渡利得ハ「鑛業若ハ砂鑛業ニ關スル權利若ハ設備ノ讓渡ニ因ル前年中ノ總收入金額ヨリ取得價額、設備費、改良費及譲渡ニ關スル必要ノ經費ヲ控除シタルル金額ニ依ル」ト書イテアリマス、尙「鑛業若ハ砂鑛業ニ關スル權利若ハ設備ニシテ昭和十一年十二月三十一日以前ニ取得シタルモノニ付テハ同日ニ於ケル價額ニ其ノ百分五ニ相當スル金額ヲ加算シタル金額ヲ以テ前項ノ取得價額トシ同日後ニ爲シタル設備又ハ改良ニ要シタル費用ノミヲ以テ前項

上ゲマシタヤウナ費用ヲ引クト云コトニ  
ナツテ居リマス、尙臨時利得稅法ノ第十三條  
ノニ於キマシテ「昭和十四年一月一日以  
後ニ於テ設定セラレタル鑛業又ハ砂鑛業ニ  
關スル權利ニシテ命令ノ定ムルモノノ讓渡  
ニ付テハ本法中讓渡利得ニ關スル規定ヲ適  
用セズ」、斯ウナツテ居リマス、即チ十四年  
一月一日以後新シク設定サレタヤウナ鑛業  
又ハ砂鑛業ニ關スル權利デアリマスナラバ、  
施行規則ノ第十二條ノ三ニ依リマシテ「昭  
和十四年一月一日以後ニ於テ左ニ掲グル原  
因ニ因ラズシテ自己ニガ原始的ニ取得シタル  
鑛業又ハ砂鑛業ニ關スル權利ノ讓渡ニ付テ  
ハ臨時利得稅法第十三條ノ二ノ規定ニ依リ  
讓渡利得ニ關スル規定ヲ適用セズ」トシマ  
シテ、「鑛區又ハ砂鑛區ノ合併、分割又ヘ分  
合」、「試掘權ノ設定アル鑛區ニ付テノ採掘  
權ノ取得」、「試掘權ノ存續期間満了ニ因ル  
更新」ト云ツタ規定ガ置カレテアルヤウナ次  
第デアリマス

○中野敏雄君 其ノ取得價額ノ構成ノ要素  
デアリマスガ、原始取得ノ場合ニ、サウニツ  
タ可採炭量ト云ツタモノハ評價ノ標準ニ入ッ  
テ居リマセウカ、入ツテ居リマセヌカ

○政府委員(松隈秀雄君) 十四年ノ一月一  
日以降ニ於テ設定サレマシタ權利デアツテ  
命令ニ規定シテアルモノハ課稅ニナラナイ

カラ問題ハナノデアリマスガ、十一年ノ  
十二月三十一日以前ニ取得到シマシタモノ  
ハ、十一年十二月三十一日現在ノ價額ヲ評  
定致シマシテ、其ノ評定ニ依リマスカラ是  
モ問題ハナイト思フノデアリマス、問題ハ  
十二年ノ一月一日以降原始的ニ取得シマシ  
タ鑛業權デアツテ、十四年ノ一月一日以降  
ノ取得デナイト云フ其ノ期間ノモノニ付テ  
ノ評價ノ問題デアリマスガ、之ニ付テノ取  
得價額ニ付テハ、單ニ登錄稅ノミヲ以テ取  
得價額ニ見ルト云フコトデナイ扱ニ致シタ  
イト思ツテ居リマス

○中野敏雄君 只今登錄稅ダケデハナイト  
云フ御説明デアリマスガ、サウ云ッタ採炭量  
其ノ他モ當然含ツテ居ル、斯ウ云フ風ニ了解  
シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 単ニ登錄稅ダケ  
デナク、「ボーリング」ヲシタ費用デアル  
トカ、或ハ坑道ヲ造ツタ費用デアルトカ云ッ  
タヤウナモノハ原價ニ含メテ、利得金額ヲ  
計算スルト云フ積リデアリマス

○中野敏雄君 其ノ中ニ賦存シテ居ル鑛物  
ハドウデゴザイマセウカ

○政府委員(松隈秀雄君) 只今ノ點ハ現在  
ノ取扱ト致シマシテハ、埋藏量ヲ取得價額  
ノ方ニ見ルカト云フ御尋デアレバ、其ノ部  
分ハ取得價額ニ見ルト云フ扱ニナシテ居リ  
マセヌ、從ヒマシテ讓渡價額ガ埋藏量ヲ罩  
メタ價格デ相當高ク出ルト云フ場合ニ於テ、  
取得價額ノ方ニ入ツテ居リマセヌカラ、比較  
的讓渡利得ガ高ク出ル、斯ウ云フ結果ニナ  
リマス

○中野敏雄君 能ク分リマシタ  
○委員長(伯爵酒井忠正君) 此ノ際、中山  
君ノ御質問ヲ御許シ致シタイト思ヒマス  
○委員外議員(中山太一君) 臨時利得税法  
ノ停止等ニ關スル法律案ニ關シマシテ其ノ適  
用上ニ付テ、昨日政府ノ御説明ニ依リマシ  
テ、根本ノ趣旨ハ能ク了解出來マシタガ、  
本税法ノ適用ニ依リマシテ、現在ノ輸出業  
者又ハ輸出品ヲ製造スル業者ガ蒙リマス不  
利不便ヲ適當ニ救濟スルコトガ必要デアル  
ヤウニ考ヘラレマス、現在ノ輸出業者ガ輸  
出手續ノ上ニ於キマシテモ、從來ハ貿易機  
關ニ委託輸出ノ賣買契約ヲ致シマスト同時  
ニ、相當多額ノ調整料ヲ前納シテ、サウシ  
テ後ニ出荷ノ手配ガ出來ルノデアリマシテ、  
ソレカラ船積ミヲ完了シテ「ビー・エル」<sup>ラ</sup>入手  
シ、銀行デ割引シマシテ、商品代金ナリ立  
替納付シタ所ノ調整料ナリヲ資金化スルノ  
デアリマスガ、此ノ「ビー・エル」ノ入手ナリ、  
銀行ニ手形ヲ渡ス迄ニハ、調査料ヲ前納シ  
テ、少クトモ支那ノ普通ノ方面デモ一箇月  
以上掛ルノデアリマス、更ニ南方方面、廣東  
等ニ輸出スル場合ニハ三四箇月モ手續ナ  
ドノ期間ガ遅レル現狀デアリマシテ、從ツ  
テ其ノ間ニ金利ノ負擔等モ相當大ナモノガ  
アル實情デアリマス、今回又其ノ商品ニ  
高率ノ課税ガサレテ、其ノ納稅金額ヲモ合  
ハ金利ノ負擔ノ重課ト共ニ、一方資金調達  
ハアルト思ヒマス

上ニモ非常ナ困難ヲ來ス盧ガアルノデアリ  
マスガ、政府ハ是ガ救濟的對策ヲ如何ニシ  
テ講ゼラレマスカ、御考ガアルコトト存ジ  
マスカラ、御所見ヲ第一ニ承リタイノデア  
リマス

○政府委員(松隈秀雄君) 輸出品ニ付キマ  
シテハ御話ノヤウニ只今デハ多クノモノハ  
輸出調整機關ノ手ヲ經テ、所謂委託輸出ト  
申シマスカ、ノ方法デ輸出シテ居ルノデア  
リマスガ、其ノ場合ニ付キマシテ調整料ヲ  
前納シテ手續スルノデアリマスルガ、「ビ・  
エル」ヲ入手スル迄ニ或程度ノ期間ガ掛  
ル、從ツテ手形ヲ割引イテ貰ッテモ、現金化ス  
ル迄ニ相當ノ時日ヲ要スト云フコトハ、是  
ハ御話ノ通リデアルト思フノデアリマス、  
同ジ輸出ニ付キマシテモ、支那方面ト滿洲  
方面トデハ稍ニ狀況ガ違フカト思フノデアリ  
マス、支那方面デアリマスト云フト、昨日  
モ御話ガ出マシタヤウニ、大體ニ於キマシ  
テ内地ノ調整料及ビ現地ノ調整料ト分レテ  
ハ居リマスルガ、相當調整料ヲ取ッテ輸出  
シ得ル程度ニ先方ノ價格ガ高イノデアリマ  
ス、其ノ調整料ハ結局内地ノ價格ト先方ノ  
價格トノ差ニ相當スルモノデアリマスノデ、  
今回輸出スル物品ニ對シマシテ從來ハ輸出  
稅ガ免稅ニナシテ居ツタ、ソレダケ原價ガ安  
ク付イテ居ツタ、今回ハ免稅ニナラナクナツ  
タダケ原價ガ高クナツタ致シマスレバ、  
ナイカト思ヘレマスノデ、此ノ點ノ影響ハ  
調整料ヲ取ラナイ物ニ較ベルト、可ナリ輕  
視シテ宜シイノデハナイカト思ツテ居ルノデ  
アリマス、滿洲ノ輸出ハ先程モ申シマシタ通り



關係ナイト思ヒマス、今回ノ課税ヲ加算サレル輸出品ハ主トシテ製造者が出荷スル時課税セラレル、所謂第二種ノモノガ主モデアラウト思ヒマス、サウシマスト現地ニ於テ大變不公正ナ價格ガ出來ルヤウニナリマスノミナラズ、其ノ課税サレタ品物ニ尙調整料ヲ課セラレル場合ニ、此ノ税金ヲ掛けタモノヲ原價トシテ調整料ヲ換算サレルノデアリマセウカ、調整料ハ別ニ先程言ハレタヤウナ意味ニ立場ヲ變ヘテ考慮サレルモノデアリマセウカ、調整料ヲ五割掛ケラレテ居ルモノガ、今回ノ税金ガ八割掛カルトシマスト、生産者ナリ、貿易業者ハ調整料ヲ商品ノ九割程負擔スルコトニナッテ、ソレニ税金ノ八割ヲ加ヘマスト、商品ノ實ニ十七割ノ負擔トナルヤウナコトニナルノデアリマス、商品ガ高價トナツテ行クト云フバカリデナク、是ガ現地ニ於テハ、又輸入税ヲ相手國ガ相當高ク取ル、支那ニ於テハ輸入税以外ニ又別途ノ高率ナ課税ヲ中支ニ於テハシテ居リマスガ、サウ致シマスト日本デ實際ノ商品實價ノ四倍乃至五倍ニナルコトニナリマシテ、日本ノ商品ガ全然彼ノ地ニ於テ度ハ發展ノ餘地ガナク、彼ノ地ノ相手國ノ人ガ今度ハ事業ヲ經營ラシテ同ジ共榮圈デアリナガラ、我方ノ國民ハ惠マレズシテ、相手國ノ人ノミヲ繁榮サス、益サスト云フコトニナリマスト、共榮圈ノ精神ニモ悖ルヤウニ思ヒマスガ、之ニ對シテ輸入税ノ負擔ヲ輕減スル、又高率ノ税額ヲ緩和サスヤウナ方法ニシテ、日本デ掛カル税金ヲ輸入税ニハ加算シナイヤウナ何カ外交上ノ交渉等ガ出來得ルモノデナイノデセウカ、是ハ調整料ノ時ニハ、不文律デアリマスケレドモ、適當ナ便法ガ設ケラタヤヴデアリマ

スカラ、之ニ對シテ政府ノ御考ヲ御差支ナ程度デ御渡シヲ願ヒタイト存ジマス○政府委員(松隈秀雄君) 物品税中、第一種ノ物品ハ小賣課税デアリマスルノデ、從ツテ小賣デ課税ヲ受ケタモノヲ外國ニ輸出スルト云フ例ハ極メテ稀デアルコトハ御説ノ通りデアリマス、第二種ノ物品税ヲ課税セラレタモノガ、外國ニ出テ行ク、從來ハ其ノ場合ニ於テ免稅デアツタガ、今度ハ課税ニナルト云フノデアリマス、其ノ場合ニ於キマシテ、調整料ノ問題デアリマスルガ、是ハ場合ニ依リマシテハ、他ノ政府委員カラ御答ヘスルノガ適當デアルカト思フノデアリマスルガ、御承知ノ通り調整料ハ内地デ或シテ、調整料ノ問題デアリマスルガ、此ノ問題ハ大東亞共場合ニ依リマシテハ、他ノ政府委員カラ御度取りマシテ、物ニ依リマシテハ、更ニ現地デモ取ツテ居ル、内地デハ例ヘバ僅カニマスルガ、御承知ノ通り調整料ハ内地デ或シテ、調整料ノ問題デアリマスルガ、此ノ問題ハ大東亞共

ヤウナモノモ出ルコトニナツテ居リマスルノデ、施行ノ現状ニ依リマシテ或程度ノ補助ヲシナケレバ輸出困難デアルト云フヤウナモノニ付テハ、此ノ會計ニ於テ考へ得フレモノデハナイカト存ジテ居ル次第デアリマス、尙日本カラ輸出セラレマスモノガ、税負擔ガ高クナツテ、現地ニ於テソレダケニ賣レナイト云フヤウナ場合ニ於テ、現地デ新シイ工業ガ興ツテ、從ツテ現地人ノ利益ニハナルケレドモ、内地ノ業者ノ事業ガ縮シテシマヒハシナイカト、斯ウ云フ心配デアリマスルガ、現狀ヲ以テ致シマスレバ、内地カラ品物ヲ相當入レルコトヲ希望シテ居ル、ソレニ對シテ物資ノ關係デ應ジ切レナイヤウナ狀況ニアルノデアリマシテ、今サウ急度ニ現地デ總テノ物ガ調達サレルト云フヤウナ程度迄輕工業等ガ發達スルトモ思ヘナイノデアリマス、尙現地ニ於キマシテ輸入税ノ制度ガアルカラシテ、其ノ點少シク緩和スレバ、或ハ内地ニ於テ輸出物品ニ對スル免稅ガ行ハレタシテモ差引ガツクノデハナイカ、殊ニ内地ノ輸出税ヲ免除シテ居タル品物ニ税ガツイタカラ、ソレダケ現地ニタケル到著價格ガ高クナツタノデ、尙輸入關稅ガ殖エルト、斯ウ云フ點ノ御心配カラ何トカ現地ニ於ケル輸入關稅ヲ低メルコトニ付テ外交的ナ考慮ヲ拂フ考ヘハナイカト、斯ウ云フコトデアリマス、此ノ點ハ大東亞共榮圈全體ノ關稅ヲ如何ニスルカト云フ問題ト關聯シテ來ルノデアリマシテ、其ノ背後ニハ大東亞全地域ノ國民負擔ヲ如何ニスマス、日本デ消費稅ヲ取ツテ、ソレダケ高イ税金ヲモノラ與ヘテ輸出スルコトモ可能ナノデアリマシテ、其ノ財源トシテ内地ノ調整料ハ勿論、現地ノ調整料モ此ノ會計ニ除スルモノハ勿論、必要ニ應ジテハ更ニ補助金的ノモノラ與ヘテ輸出スルコトモ可

ヤウナ方法ニシテ、日本デ掛カル税金ヲ輸入税ニハ加算シナイヤウナ何カ外交上ノ交渉等ガ出來得ルモノデナイノデセウカ、是ハ調整料ノ時ニハ、不文律デアリマスケレドモ、適當ナ便法ガ設ケラタヤヴデアリマス、云フコトヲ特ニ希望致ス次第デアリマス、ノ尻ハ一般會計ニ續イテ居リマシテ、必要内地、現地間ノ一つノ負擔ノ調整デアリマス、

ソレカラ課税品ヲ輸出シマス際ニ、今迄輸出割當額ガ決シテ居リマシタガ、從來其ノ輸出ノ割當額ダケヲ輸出ガ許可サレルコトニナツテ居リマシタ、今度第二種ノ物品稅ノ掛ツタモノ、其ノ他之ニ類スルモノハ、課稅後ハ其ノ割當額ガ同一デアル場合ニハ、稅金額ヲ減ジテ換算シテ宜イモノデアリマセウカ、又ハ其ノ稅額ダケヲ殖ヤシタ割當ヲ政府ハ致サレル御考テアリマセウカ、此ノ點ニ付テ御意見ヲ承リタイト存ジマス、又モウ一つハ、政府デハ、内地モ同様デアリマシタガ、又北支、中支等モ低物價政策ヲ堅持サレテ居ツタ思ヒマスガ、見方ニ依ツテハ、今回ノ高率課稅ニ依ツテ、其ノ政策ハ或程度是正サレヤウニ思ハレル、殊ニ或商品ニ依ツテハ根本カラソレガ破壊サレタヤウニ考ヘラレマスガ、之ニ對シテノ政府ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、或種ノ品物ハ嚴格ナ低物價政策ヲ一率ニ堅持スル必要ハナイ、矢張リ高率課稅化サレテモ宜イモノガアルカノ如ク、私ハ之ニ抑壓シテ價格ニ無理ニスル必要ハナイト思ハレルノデ、反對ノ意味デ聽クノデナクシテ、政府ノ其ノ御考ヲ一應

○政府委員(松隈秀雄君) 御質問ノ第一點

場合ニ加算セラレタ金額ニ依ツテ割當テラレルト云フ商品ノ數量ガ減ルト云フヤウナ虞ガアルノデアルガ、其ノ點ニ關スル政

輸出割當ヲ致シテ居ラレマスノハ主トシテ

商工省デゴザイマスノデ商工當局ノ方ニ今

回大藏省トシテ輸出物品ニ對シマスル免稅廢止ノ方法ヲ執ルノ已ムナキニ至リマシタ

事情ヲ能ク話ラシマスト共ニソレニ依ツテ直チニ輸出物品ノ數量ヲ減ラスト云フ考ハナ

イノデアルカラシテ數量ノ減ルコトノナイ

ヤウニ特ニ考慮方ヲ申入レテゴザイマシテ、

商工當局等ニ於キマシテモ其ノ點誠ニ理由

アリト云フ御考デアリマスノデ大體ニ於テ

御懸念ノ點ハナカラウカト思フノデアリマス、次ノ御質問デアリマスル輸出物品

ニ對シマスル免稅ヲ廢止スルト云フコトニナリマスト云フト其ノ事デ共榮圈内

ノ諸國ノ物價政策ニ相當影響ヲシヤシ

ナイカ、斯ウ云フコトデゴザイマスガ、

今回増徵致シマスル間接稅ノ課稅物品ニ付

キマシテハ從来カラモ同様ノ方針デアリマスガ、奢侈的性質ノ強イモノニ付キマシ

テ特ニ稅率ヲ強ク引上げ、比較的ニ奢侈的

消費ノ少イ方面ニ付キマシテハ課稅外ニ置

キ、或ハ課稅スルトシマシテモ稅率ヲ極メ

テ低ク致シテ居リマスノデ今回ノ輸出物品ニ對スル免稅ノ廢止ヲ實行致シマシタ結果

ウニ現下ノ色々ノ情勢ニ照ラシマシテ誠ニ

ムルコトニナッタコトハ是ハ我ガ國ニ於テハ前

代未聞デ、昨日益田委員ノ御話ニモアリマシタガ、普通平時ニ於テハアリ得ベカラザ

ムルコトニナリマス、只今モ色々御話ガアリ、

昨日モ大藏大臣ノ御説明ニモアリマシタヤ

ウニ現下ノ色々ノ情勢ニ照ラシマシテ誠ニ

已ムヲ得ザル措置デアルト考ヘル次第デア

リマスガ、又他面ニ於テハ却テ通貨政策上

或地域ニ於ケル我ガ國ノ被ツテ居ル不利益

ヲ幾分カ間接ニ之ニ依ツテ取除キ得ルコト

モナリ、又不足勝ノ内地ノ或種ノ商品ガ

利潤追求ノ具トサレテ無暗ニ流出スルヤウ

ナ弊ヲ適當ニ緩和シ得ル一石二鳥ノ國家的利益モアル妙案デモアルヤウニモ考ヘラ

レル、外ニ又大東亞戰爭ノ遂行ニ伴フ戰費

ヲ、從來我が國民ノミガ負擔シテ居ツタ形デ

アリマシタガ、此ノ共同戰爭ニアル共榮圈

ノ諸民族ニ、ソレトナク今回ノ措置ハ間接

ニ其ノ戰費ノ幾分ヲ負擔セシメルコトト

モナリマシテ、所謂、共甘同苦ノ實ガ伴フ

適當ナ措置デモアルヤウニ考ヘラレマスカ

ラ、私が質問ヲ續ケマシタノハ、其ノ今回

ノ措置其ノモノニ對シテ反對トカ、特ニ了

解シナイ爲ニ申上ゲタノデハナコトヲ特

ニ申上ゲテ置キマス、政府ハ本增稅案ニ伴

致シマシテ、輸出免稅ハ之ヲ廢止スル、斯

スル住民ニ付テモ現在内地ノ國民ガ負擔シ

テ居ル程度ノ負擔ハ此ノ際シテ戴クコトガ

大東亞共榮圈全體トシテ此ノ大東亞戰爭ヲ

勝敗イテ大東亞共榮圈ヲ確立スル上ニ於テ

必要ナコトデアル、斯ウ云フヤウナ趣旨モ

幾分加ツテコトデアリマスノデ是ハ諒トシ

テ戴ケルト思ツテ居ル次第デアリマス

○委員外議員(中山太一君) 今回ノ臨時增

稅ト共ニ輸出スル物品ニ對スル内國稅免除

又ハ交付金交付ノ停止等ニ關スル法律ニ依

リマシテ、輸出品ニモ高率課稅ヲ負擔セシ

ムルコトニナッタコトハ是ハ我ガ國ニ於テハ前

代未聞デ、昨日益田委員ノ御話ニモアリマ

シタガ、普通平時ニ於テハアリ得ベカラザ

ムルコトニナリマス、只今モ色々御話ガアリ、

昨日モ大藏大臣ノ御説明ニモアリマシタヤ

ウニ現下ノ色々ノ情勢ニ照ラシマシテ誠ニ

已ムヲ得ザル措置デアルト考ヘル次第デア

リマスガ、又他面ニ於テハ却テ通貨政策上

或地域ニ於ケル我ガ國ノ被ツテ居ル不利益

ヲ幾分カ間接ニ之ニ依ツテ取除キ得ルコト

モナリ、又不足勝ノ内地ノ或種ノ商品ガ

利潤追求ノ具トサレテ無暗ニ流出スルヤウ

ナ弊ヲ適當ニ緩和シ得ル一石二鳥ノ國家的利益モアル妙案デモアルヤウニモ考ヘラ

レル、外ニ又大東亞戰爭ノ遂行ニ伴フ戰費

ヲ、從來我が國民ノミガ負擔シテ居ツタ形デ

アリマシタガ、此ノ共同戰爭ニアル共榮圈

ノ諸民族ニ、ソレトナク今回ノ措置ハ間接

ニ其ノ戰費ノ幾分ヲ負擔セシメルコトト

モナリマシテ、所謂、共甘同苦ノ實ガ伴フ

適當ナ措置デモアルヤウニ考ヘラレマスカ

ラ、私が質問ヲ續ケマシタノハ、其ノ今回

ノ措置其ノモノニ對シテ反對トカ、特ニ了

解シナイ爲ニ申上ゲタノデハナコトヲ特

ニ申上ゲテ置キマス、政府ハ本增稅案ニ伴

致シマシテ、輸出免稅ハ之ヲ廢止スル、斯

スル住民ニ付テモ現在内地ノ國民ガ負擔シ

テ居ル程度ノ負擔ハ此ノ際シテ戴クコトガ

大東亞共榮圈全體トシテ此ノ大東亞戰爭ヲ

勝敗イテ大東亞共榮圈ヲ確立スル上ニ於テ

必要ナコトデアル、斯ウ云フヤウナ趣旨モ

幾分加ツテコトデアリマスノデ是ハ諒トシ

テ戴ケルト思ツテ居ル次第デアリマス

○政府委員(松隈秀雄君) 只今中山サンノ

御述ニナリマシタ點、大體ニ於テ同感ニ存

ズル所デゴザイマスルノデ、今後ノ施行ニ

當リマシテハ十分留意シテ參リタイト存ジ

マス、尙法律ハ、御承知ノ通り輸出免稅ニ

付キマシテハ現下ノ戰時財政ニ鑑ミマシテ、

必要ナコトヲ得ザル措置トシテ執リマシタノ

ス、從ヒマシテ戰爭狀態ガ變ツタ場合ニ於テ

果シテ此ノ制度ヲ續ケタガ宜イカ、或ハ元

ノ制度ニ戻ツタガ宜イカ、或ハ先程私ガ申上

ゲマシタヤウニ大東亞共榮圈全體ヲ通ズル

關稅制度ノ確立等ト相俟ツテ、狀況ガ變ツ

テ參リマスレバ又其ノ變ツタ狀況ニ應ズル

ヤウナ適當ナ立法ヲスル方ガ宜シイカ、ソ

コノ所ハ融通無礙ニナルヤウニシテ、差當

リハ只今御述ニナリマシタヤウナ趣旨カラ

ニ申上ゲテ置キマス、政府ハ本增稅案ニ伴

致シマシテ、輸出免稅ハ之ヲ廢止スル、斯

スル住民ニ付テモ現在内地ノ國民ガ負擔シ

テ居ル程度ノ負擔ハ此ノ際シテ戴クコトガ

大東亞共榮圈全體トシテ此ノ大東亞戰爭ヲ

勝敗イテ大東亞共榮圈ヲ確立スル上ニ於テ

必要ナコトデアル、斯ウ云フヤウナ趣旨モ

幾分加ツテコトデアリマスノデ是ハ諒トシ

テ戴ケルト思ツテ居ル次第デアリマス

○政府委員(松隈秀雄君) 只今中山サンノ

御述ニナリマシタ點、大體ニ於テ同感ニ存

ズル所デゴザイマスルノデ、今後ノ施行ニ

當リマシテハ十分留意シテ參リタイト存ジ

マス、尙法律ハ、御承知ノ通り輸出免稅ニ

付キマシテハ現下ノ戰時財政ニ鑑ミマシテ、

必要ナコトヲ得ザル措置トシテ執リマシタノ

ス、從ヒマシテ戰爭狀態ガ變ツタ場合ニ於テ

果シテ此ノ制度ヲ續ケタガ宜イカ、或ハ元

ノ制度ニ戻ツタガ宜イカ、或ハ先程私ガ申上

ゲマシタヤウニ大東亞共榮圈全體ヲ通ズル

關稅制度ノ確立等ト相俟ツテ、狀況ガ變ツ

テ參リマスレバ又其ノ變ツタ狀況ニ應ズル

ヤウナ適當ナ立法ヲスル方ガ宜シイカ、ソ

コノ所ハ融通無碍ニナルヤウニシテ、差當

リハ只今御述ニナリマシタヤウナ趣旨カラ

ニ申上ゲテ置キマス、政府ハ本增稅案ニ伴

致シマシテ、輸出免稅ハ之ヲ廢止スル、斯

スル住民ニ付テモ現在内地ノ國民ガ負擔シ

テ居ル程度ノ負擔ハ此ノ際シテ戴クコトガ

大東亞共榮圈全體トシテ此ノ大東亞戰爭ヲ

勝敗イテ大東亞共榮圈ヲ確立スル上ニ於テ

必要ナコトデアル、斯ウ云フヤウナ趣旨モ

幾分加ツテコトデアリマスノデ是ハ諒トシ

テ戴ケルト思ツテ居ル次第デアリマス

○政府委員(松隈秀雄君) 只今中山サンノ

御述ニナリマシタ點、大體ニ於テ同感ニ存

ズル所デゴザイマスルノデ、今後ノ施行ニ

當リマシテハ十分留意シテ參リタイト存ジ

マス、尙法律ハ、御承知ノ通り輸出免稅ニ

付キマシテハ現下ノ戰時財政ニ鑑ミマシテ、

必要ナコトヲ得ザル措置トシテ執リマシタノ

ス、從ヒマシテ戰爭狀態ガ變ツタ場合ニ於テ

果シテ此ノ制度ヲ續ケタガ宜イカ、或ハ元

ノ制度ニ戻ツタガ宜イカ、或ハ先程私ガ申上

ゲマシタヤウニ大東亞共榮圈全體ヲ通ズル

關稅制度ノ確立等ト相俟ツテ、狀況ガ變ツ

テ參リマスレバ又其ノ變ツタ狀況ニ應ズル

ヤウナ適當ナ立法ヲスル方ガ宜シイカ、ソ

コノ所ハ融通無碍ニナルヤウニシテ、差當

リハ只今御述ニナリマシタヤウナ趣旨カラ

ニ申上ゲテ置キマス、政府ハ本增稅案ニ伴

致シマシテ、輸出免稅ハ之ヲ廢止スル、斯

スル住民ニ付テモ現在内地ノ國民ガ負擔シ

テ居ル程度ノ負擔ハ此ノ際シテ戴クコトガ

大東亞共榮圈全體トシテ此ノ大東亞戰爭ヲ

勝敗イテ大東亞共榮圈ヲ確立スル上ニ於テ

必要ナコトデアル、斯ウ云フヤウナ趣旨モ

幾分加ツテコトデアリマスノデ是ハ諒トシ

テ戴ケルト思ツテ居ル次第デアリマス

○政府委員(松隈秀雄君) 只今中山サンノ

御述ニナリマシタ點、大體ニ於テ同感ニ存

ズル所デゴザイマスルノデ、今後ノ施行ニ

當リマシテハ十分留意シテ參リタイト存ジ

マス、尙法律ハ、御承知ノ通り輸出免稅ニ

付キマシテハ現下ノ戰時財政ニ鑑ミマシテ、

必要ナコトヲ得ザル措置トシテ執リマシタノ

ス、從ヒマシテ戰爭狀態ガ變ツタ場合ニ於テ

果シテ此ノ制度ヲ續ケタガ宜イカ、或ハ元

ノ制度ニ戻ツタガ宜イカ、或ハ先程私ガ申上

ゲマシタヤウニ大東亞共榮圈全體ヲ通ズル

關稅制度ノ確立等ト相俟ツテ、狀況ガ變ツ

テ參リマスレバ又其ノ變ツタ狀況ニ應ズル

ヤウナ適當ナ立法ヲスル方ガ宜シイカ、ソ

コノ所ハ融通無碍ニナルヤウニシテ、差當

リハ只今御述ニナリマシタヤウナ趣旨カラ

ニ申上ゲテ置キマス、政府ハ本增稅案ニ伴

致シマシテ、輸出免稅ハ之ヲ廢止スル、斯

スル住民ニ付テモ現在内地ノ國民ガ負擔シ

テ居ル程度ノ負擔ハ此ノ際シテ戴クコトガ

大東亞共榮圈全體トシテ此ノ大東亞戰爭ヲ

勝敗イテ大東亞共榮圈ヲ確立スル上ニ於テ

必要ナコトデアル、斯ウ云フヤウナ趣旨モ

幾分加ツテコトデアリマスノデ是ハ諒トシ

テ戴ケルト思ツテ居ル次第デアリマス

○政府委員(松隈秀雄君) 只今中山サンノ

御述ニナリマシタ點、大體ニ於テ同感ニ存

ズル所デゴザイマスルノデ、今後ノ施行ニ

當リマシテハ十分留意シテ參リタイト存ジ

マス、尙法律ハ、御承知ノ通り輸出免稅ニ

付キマシテハ現下ノ戰時財政ニ鑑ミマシテ、

必要ナコトヲ得ザル措置トシテ執リマシタノ

ス、從ヒマシテ戰爭狀態ガ變ツタ場合ニ於テ

果シテ此ノ制度ヲ續ケタガ宜イカ、或ハ元

ノ制度ニ戻ツタガ宜イカ、或ハ先程私ガ申上

ゲマシタヤウニ大東亞共榮圈全體ヲ通ズル

關稅制度ノ確立等ト相俟ツテ、狀況ガ變ツ

テ參リマスレバ又其ノ變ツタ狀況ニ應ズル

ヤウナ適當ナ立法ヲスル方ガ宜シイカ、ソ

コノ所ハ融通無碍ニナルヤウニシテ、差當

リハ只今御述ニナリマシタヤウナ趣旨カラ

ニ申上ゲテ置キマス、政府ハ本增稅案ニ伴

ウ云フ譯デアリマス

○橋本辰二郎君 私ハ臨時租税措置法中ノ

第一條ノ二十四ニ付キマシテ御伺ヒ致シタ

イト思ヒマス、此ノ二十四ノ末尾ニ「特例ヲ

設クルコトヲ得」トシテアリマス、而シテ法

案ノ要綱ヲ見マスルト、國債、其ノ他主務

官廳ノ認可シタル有價證券ヲ一月以内ニ取

得シタモノニ限ル、ト云フコトダケガ載ツテ

居リマシテ、特例ト云フコトニ付テノ御示

ガアリマセヌガ、是ハドウ云フ特例ヲ御設

ケニナルノデアリマスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 只今ノ御質問ハ

臨時租税措置法第一條ノ二十四ニ於キマシ

テ、規定シテ居リマスルヤウナ場合ニ於キ

マシテハ、法人税法ニ依ル所得、營業税法

ニ依ル純益及臨時利得税法ニ依ル利益ノ計

算ニ付キ特例ヲ設クルコトヲ得、斯ウ云フ

書キ方デアリマスルガ、此ノ書キ方ノ例ハ

臨時租税措置法ノ第一條ノ四ニモ前例ガア

ル書キ方デアリマスガ、此ノ實質ハ先程大

河内委員ノ御尋ノ際ニモ御答ヘシテ置イタ

通リデアリマシテ、臨時資金調整法第十五

條ノ五ノ規定ニ依リマシテ、法人ガ其ノ所

有シテ居リマスル株式ヲ讓渡セシメラレタ

場合デアリマス、例ヘバ或法人ガ他ノ法人

ノ株式ヲ持ッテ居リマシテ、其ノ記帳價格

ガ百萬圓デアッタ、處ガソレガ相當含ミヲ  
持ッテ居ル株式アリマシタ爲ニ、其ノ百萬圓  
ノ株全部ノ讓渡ヲ命ゼラレマシタ場合ニ於  
テ時價ニ依ッテ讓渡致シマシタ處ガ、百五十  
萬圓ニナシタト云フ場合ニ於キマシテ、其ノ  
讓渡代金ヲ其ノ儘ニシテ置キマスレバ、ソ  
ニ五十萬圓ノ利益ガ出マシテ、其ノ利益  
ハ結局法人税法ニ依ル所得ト看做サレ、營  
業税法ニ依ル純益ト看做サレ、臨時利得税

法ニ依ル利益トモナル、斯ウナツテ參ルノ  
デアリマスルガ、其ノ場合ニ於キマシテニ  
設クルコトヲ得」トシテアリマスカ

○橋本辰二郎君 御示

シナイデ、元ノ株式ノ價格ノ百萬圓ト云フ  
コトニ記帳ヲシテ置キマスレバ、ソレニ依  
リマシテ、法人税法ニ依ル所得ノ特例トシ  
テ所得ニ見ナイ、營業税法ニ依ル純益ノ特  
例トシテ純益ト見ナイ、臨時利得税法ニ依  
ル利益ノ特別トシテ利益ニモ計算シナイト  
云フコトニ依ッテ、法人税モ課税サレナケ  
レバ、營業税モ課税サレナイ、臨時利得税  
モ課税サレナイ、斯ウ云フ意味ナノデアリ  
ヲ設クルコトヲ得、斯ウ云フ様式ニナッテ  
居ル次第デアリマス、實質ハ只今申上ゲマ  
シタヤウナ譯デアリマス

○橋本辰二郎君 御説明ニ依リマシテ大變  
ナ特典ヲ與ヘラレルコトニナリマス、誠ニ  
結構ナコトト思ヒマスガ、是ハ命令ニ限ル  
モノデアリマセウカ、現在ニ於キマシテ政  
府ノ一部ニハ強制ハシナイ、併シ是ハ懲懲  
ソレデ株ノ値段ハ等價ヲ以テ一株、々々ト  
交換ヲスル、斯ウ云フ場合ト、例ヘバ又甲  
ノ會社八十株、乙ノ會社ハ十二株ヲ以テ交  
換ヲスル、斯ウ云フ場合ニ於テハドウ云フ  
御取計ヲビニナルノデスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 合併ノ場合ニ於  
キマシテ、對等ノ合併デ一株對一株ト云フ  
ヤウナ場合デアリマスレバ、ソコニ合併差  
益ガ出ナインデアリマスルガ、一株ニ對シ  
テ一株以上ノ交付ヲ受ケルト云フヤウナ場  
合ニナリマスレバ、合併差益ノ課税ノ問題  
ガ起ルト思フノデアリマス、尙臨時租税措  
置法第一條ノ二十四ニ規定シテ居ラナイ場  
合デアリマシテモ、例ヘバ第一條ノ十八ニ  
依リマシテ合併迄行カナイト致シマシテモ、  
法令又ハ法令ニ基ク命令デアルトカ、或ハ  
行政官廳ノ指導、斡旋ト云フヤウナコトガ  
カリマシテ、事業ノ統制ノ必要上、或資產  
ヲ甲ノ法人カラ乙ノ法人ニ移スト云フヤウ  
ナコトニ依リマシテ、甲ノ法人ガ乙ノ法人  
ノ株式ヲ取得シタト云フヤウナ場合ニ於キ  
マシテハ、私が先程第一條ノ二十四デ説明  
シタト同ジヤウニ、矢張リ受入レマシタ有

法ノ第十五條ノ五ノ發動ニ依ッテ行フ、サウ  
云フコトヲスル、臨時資金調整法ニ基クサ  
ウ云フ命令ヲ出スノガ不適當デアルト思フ  
テ、規定シテ居リマスルヤウナ場合ニ於テ、解散ヲセ  
リマシテ、法人税法ニ依ル所得ノ特例トシ  
テ所得ニ見ナイ、營業税法ニ依ル純益ノ特  
例トシテ純益ト見ナイ、臨時利得税法ニ依  
リマシテ、法人税モ課税サレナケレバ、其ノ救濟  
ヤウニシテ、運用シテ參ルノガ適當デハナ  
ガ、サウ云フモノニ換ヘマシテ百五十萬ト  
シナイデ、元ノ株式ノ價格ノ百萬圓ト云フ  
コトニ記帳ヲシテ置キマスレバ、ソレニ依  
リマシテ、法人税法ニ依ル所得ノ特例トシ  
テ所得ニ見ナイ、營業税法ニ依ル純益ノ特  
例トシテ純益ト見ナイ、臨時利得税法ニ依  
ル利益ノ特別トシテ利益ニモ計算シナイト  
云フコトニ依ッテ、法人税モ課税サレナケ  
レバ、營業税モ課税サレナイ、臨時利得税  
モ課税サレナイ、斯ウ云フ意味ナノデアリ  
ヲ設クルコトヲ得、斯ウ云フ様式ニナッテ  
居ル次第デアリマス、實質ハ只今申上ゲマ  
シタヤウナ譯デアリマス

○橋本辰二郎君 御説明ニ依リマシテ大變  
ナ特典ヲ與ヘラレルコトニナリマス、誠ニ  
結構ナコトト思ヒマスガ、是ハ命令ニ限ル  
モノデアリマセウカ、現在ニ於キマシテ政  
府ノ一部ニハ強制ハシナイ、併シ是ハ懲懲  
ソレデ株ノ値段ハ等價ヲ以テ一株、々々ト  
交換ヲスル、斯ウ云フ場合ト、例ヘバ又甲  
ノ會社八十株、乙ノ會社ハ十二株ヲ以テ交  
換ヲスル、斯ウ云フ場合ニ於テハドウ云フ  
御取計ヲビニナルノデスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 合併ノ場合ニ於  
キマシテ、對等ノ合併デ一株對一株ト云フ  
ヤウナ場合デアリマスレバ、ソコニ合併差  
益ガ出ナインデアリマスルガ、一株ニ對シ  
テ一株以上ノ交付ヲ受ケルト云フヤウナ場  
合ニナリマスレバ、合併差益ノ課税ノ問題  
ガ起ルト思フノデアリマス、尙臨時租税措  
置法第一條ノ二十四ニ規定シテ居ラナイ場  
合デアリマシテモ、例ヘバ第一條ノ十八ニ  
依リマシテ合併迄行カナイト致シマシテモ、  
法令又ハ法令ニ基ク命令デアルトカ、或ハ  
行政官廳ノ指導、斡旋ト云フヤウナコトガ  
カリマシテ、事業ノ統制ノ必要上、或資產  
ヲ甲ノ法人カラ乙ノ法人ニ移スト云フヤウ  
ナコトニ依リマシテ、甲ノ法人ガ乙ノ法人  
ノ株式ヲ取得シタト云フヤウナ場合ニ於キ  
マシテハ、私が先程第一條ノ二十四デ説明  
シタト同ジヤウニ、矢張リ受入レマシタ有

控へサセラレタト云フ場合ニ於キマシテ、  
ソコニ負擔ノ加重ト云フヤウナコトガ現レ  
テ參リマスレバ、所得稅、法人稅、營業稅、  
臨時利得稅ニ付キマシテ、實際負擔加重ノ  
狀況ヲ見マシタ上、適當ニ輕減出來ルヤウ  
ニ廣イ規定ガ與ヘラレテ居ルヤウナ次第デ  
アリマス

---

Digitized by srujanika@gmail.com

其ノ申告ヲ基礎ニシテ調べマシテ、所謂調査委員會ニ提案スル迄ノ間ニ、餘程餘裕モ出來マンシテ、調査上モ誠ニ都合ガ宜シイノデアリマスノデ、稅務當局ト致シマシテハ幾度カ其ノ改正案ヲ考ヘタノデアリマスルガ、唯施行ノ初年度ニ於キマシテ、配當ガ十箇月分ニナルト云フコトデアリマスル爲ニ、相當配當所得ニ減ガ立ツノデアリマス、最近ニ於キマシテハ歲入ノ増加ヲ必要トスル事情ガ非常ニ強イノデアリマスルモノデスカラ、改正ノ機會ニ度々考ヘルコトデハアリマスルケレドモ、實行シ難イト云フ實情ナノデアリマス、委員長、チヨット速記ヲ止メテ戴キマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ止メテ  
〔速記中止〕

ノ爲ニ行キ届カナイカラ一箇月以上早ク届ケロト云フコトヲ各町内會ヲ通ジテ一般ニ言ウテ來テ居ル所ガアルノデアリマス、處ガソレハ配當所得ヲ受ケルモノニ付テハ實行不可能ナシデアリマス、單ニ營業トカ、何トカ云フモノノミナラバ行ヘマスガ、如何ニ三月十五日ニ届出期日ヲ定メタガ爲ニ稅務署ニ大變ナ苦痛ヲ與ヘルカト云フコトハソレデ察セラレルト思ヒマスカラ、アナタノ部下ノコトデモアリマスシ、能クドウゾ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラモウツ御尋ネシタイノデアリマス、是ハ實ハ大臣ニ御尋ネシタイト思ヒマシタガ、アナタニ御尋ネ致シマスガ、地方分與金ニ付テデアリマス、是ハ當年ハ少シ増サレテ居リマスガ、是モ結構ナコトデアルト思ヒマス、併シ此ノ分與金ノ率ヲ大變引下がらレテ居リマス、是ハ收入ガ増スカラシテ當然ノ措置ト思ヒマスガ、大藏大臣ノ御希望ノヤウニ、此ノ遊興飲食稅ノ如キモノガ非常ニ自肅ニ依ツテ激減ヲシタ場合ニ於テハ、此ノ率ノモノニ於テハ豫定ノ分與金ト云フモノハ出テ來ナイト思ヒマス、萬一サウ云フ場合ニ於キマシテハ是ハドウ云フ措置ヲ御執ニナルノデアリマセウカ

ノデ實行上ノ困難ヲ感ジテ居ル次第ゴザ  
二月ノ十五日若シクハ二月末位ニ所得ノ申  
告ヲスルヤウニト云フコトヲ申シテ居ルモ  
ノガアルヤウナ御話デゴザイマスガ、是ハ  
恐ラク配當ニ關係ノナイ人ニアツテ、營業ノ  
純益等ニ付キマシテ出來ルルダケ早ク本人ノ  
申告ヲ徵シテ調査ヲ進メル方ガ相互ニ便宜  
デアルト考ヘラレマスル場合ニ於キマシテ、營業ノ  
營業ノ方ハ一月カラ十二月デアリマスルカ  
ラ、二月頃デアリマスレバ大體帳簿ヲ締  
切ツテ利益モ出ルカモ知ラヌ、斯ウ云フコト  
カラ交渉シテ居ルノデアラウト思フノデア  
リマス、配當ニ關係ガアリマスルモノニ付  
テ繰上げテ申告ヲ慾懃スルト云フコトハ勿  
論宜シクナイコトデアリマスノデ、其ノ點  
ニ付テハ注意ヲ致シタイト思ツテ居リマス、  
次ニ地方分與稅ニ付テノ御話デアリマスガ、  
配付稅ニ付キマシテハ今回遊興飲食稅ノ附則  
ヲ以テ配付割當ヲ變更シテ居リマスルガ、ソ  
レハ御話ノ通り遊興飲食稅、入場稅等ガ増徵  
ニナリマシタノデアリマスルガ、是ハ臨時軍事  
費財源ニ繰入レマスル爲ノ增徵デアリマスルノ  
デ、此ノ際地方團體ニ特ニ餘分ノ金ヲ與ヘル  
ト云フ趣旨ハゴザイマセヌカラシテ、大體ニ  
於キマシテ從來ト同じ程度ノ金額ガ地方團  
體ニ配付サレマスルコトヲ目安トシマシテ  
率ヲ引下ゲタノデアリマスルガ、併シ今年  
度ニ於キマシテハ地方財政需要ガ増大シテ  
參ツテ居ル事情モ或程度加味シマシテ、例ヘ  
バ戰時勤勉手當等モ地方團體ニ於テモ支給  
法ノ改正ニ伴ヒマシテ營業稅ガ減少致シマ  
イマス、尙稅務署ニ於キマシテハ非公式ニ  
恐ラク配當ニ關係ノナイ人ニアツテ、營業ノ

スルノデ、ソレ等ノ影響モ或程度者慮ニ入レ  
マシテ、追加豫算ニ於キマシテ三千二百萬  
圓程ノ金額ヲ別途ニ増ス程度ノ者慮ハ拂ッ  
テ居ルノデアリマス、尙遊興飲食稅ガ今後  
ニ於キマシテ消費ノ節約、其ノ他ノ理由ニ  
依テ減シテ參ルト云フコトニナリマシタ場  
合ニ於キマシテ、ソレニ相應シテ必ズ地方  
ノ歳出ガ減ラヌト云フヤウナ場合ニ於キマ  
シテハ、是ハ今後ノ問題トシテサウ云フ情  
勢ガ出マシタ場合ニ考慮スベキコトデアッ  
テ、或程度ノ増減ハ是ハ決算的ニ補整サ  
レルノデアリマスガ、其ノ減リ方ガヒドク  
シテ、地方財政ガ非常ニ困難ヲ生ズルト云  
フコトニナリマスレバ更ニ分與率ノ問題ト  
シテ考慮サレルヤウナ時期モ參ルカトモ思  
ヒマスガ、ソレハ今後ノ推移ヲ見タ上デナ  
イト何トモ申上ゲ兼ネル譯デアリマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 他ニ御質問ゴ  
ザイマセヌカ、御質問ハ是デ大體終了致シ  
タコトニ致シテ御異議ゴザイマセヌカ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 他ニ御質問ゴ  
ザイマセヌカ、御質問ハ是デ大體終了致シ  
タコトニ致シテ御異議ゴザイマセヌカ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 異議ナイト認  
メマス、ソレデハ是ヨリ討論ニ入りタイト  
存ジマス、討論ニ付キマシテハ發言ノ御通  
告ガゴザイマシタカラ御通告ノ順ニ依ッテ  
御許ヲ致シマス、西尾子爵

○子爵西尾忠方君 付託サレマシタ臨時利  
得稅法中改正法律案外十一件ノ各案ニ付テ  
賛成ヲ致シマス、今ヤ戰局ハ愈々決戰段階  
ニ入り、國家總力ヲ擧ゲテ戰力ノ增强ノ爲  
ニ集中スペキハ申迄モナク、從ツテ之ニ對應  
シテ戰時財政ノ需要モ膨脹ノ一途ニアリマ  
ス、是ガ爲ニ今回政府ハ間接稅ヲ中心トス  
ル増稅ヲ行ハレテ消費ノ抑制購買力ノ吸收  
ヲ圖ルト共ニ、國庫收入ヲ增加シ、之ヲ以

テ臨事軍事費ノ財源ノ一部ニ充當セラレ  
コトデアリマシテ、時局下緊要適切ナル御  
提案ト存ジ、各案トモ原案通り賛成ヲ致シ  
マス、唯一言此ノ際希望ヲ申添ヘテ置キタ  
イト存ジマス、ソレハ臨時租稅措置法中改  
正法律案ニ付テデゴザイマス、即チ本案ノ  
内容ヲ檢討致シマスト、當今木材ノ增產ヲ  
阻害スル虞ガ少クナイノデアリマシテ、又  
將來森林造成ノ進捗ヲ妨ダルノ嫌ヒモアル  
カト存ジマス、仍テ政府ハ森林事業ノ特  
殊性ニ鑑ミラマシテ、將來稅率ノ引下、  
補助金ノ支出等、適切ナル御考慮ヲ拂ハレ  
ムコトヲ望ム次第デゴザイマス、又本案ノ  
成立ニ對シマシテハ、前述ノ趣旨ニ基キマ  
シテ平常所得ノ決定ニ付、施業案又ハ伐採計  
畫ヲ有セザルモノニ對シテハ、增產ヲ容易ナ  
ラシムルヤウニ、昭和十一年ヨリ十二年ニ  
瓦爾間ノ全國平均伐採量ヲ基礎トシテ之ヲ  
決定セラル、ヲ至當ト認メマス、以上一言  
申添ヘテ置キマスカラシテ、何卒政府ニ於  
カレマシテハ十分此ノ點ヲ御考慮下サラバ  
誠ニ仕合セト存ジマス

○男爵岩村一木君 私モ本委員會付託法律  
全部ニ付キマシテ賛成ヲ致シマス、殊ニ西  
尾子爵ヨリ強調セラレマシタ山林所得關係  
ノコトニ付キマシテハ、現下木材ノ增產ハ  
需給事情等カラ考ヘマシテ、私ノ考ト全  
ク同意見デゴザイマス、將來政府ハ此ノ山  
林所得ノコトニ付キマシテ、戰時下殊ニ御  
留意ノ上、御努力ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ希  
望ヲ致シマシテ、全法律案ニ付キマシテ贊  
成ヲ致シマス

○橋本辰二郎君 戰時下ニ於ケル租稅政策  
ト致シマシテハ、一般納稅者ノ懷ニ深ク立  
入り、或感情ヲ挑發スルガ如キコトハ、舉

國一致ヲ要スル必要ヨリシテ、努メテ是ハ  
避ケナケレバナラヌト思ヒマス、デ戰時ニ  
於キマシテノ租稅ト云フモノハ、租稅論ト  
シテ、若シクハ社會政策トカ、若シクハ學  
者ノ說トカ云フ如キモノニ拘泥スル必要ガ  
ナインデアリマス、而シテ比較的徵稅が簡  
易ニシテ、納稅者ニ何等ノ苦痛ヲ與ヘズ、  
納稅者自ラ喜ンデ稅ヲ負擔ヲスルト云フ種  
類ノ稅ヲ選ブノガ、最モ賢明ナル政策デア  
ルノデアリマス、是ハ間接稅ヲ措イテ他ニ  
ハナノデアリマス、今回ノ御發案が悉ク  
間接稅ニ基礎ヲ置イテ居ラレマスル點ニ於  
キマシテ、私ハ喜ンデ此ノ增稅案全般ニ對  
シテ賛成ヲ致シマスノデゴザイマス、唯一  
二點政府ノ御考慮ナリ、御注意ヲ促シタイ  
ト思フコトガアリマス、ソレハ國民所得ト  
生活費ノ問題デアリマス、國民所得ハ政府  
ノ言明ニ依リマスレバ、十八年度ニ於キマ  
シテハ五百億圓ト云フコトデアリマス、  
而シテ此ノ國民所得ニハ狹キ意味ニ於ケル  
所ノ外地ヲモ包含シテ居ルト云フ御説明デ  
アリマシタ、サウ致シマスルト、内地及ビ  
狭キ意味ニ於キマスル外地ノ人口ハ約一億  
デアリマス、茲ニ於キマシテ國民所得ノ五  
百億ヨリ公債、租稅其ノ他事業資金等ヲ控  
除致シマシタル殘餘ノ百三十億トナルノデ  
アリマス、一億ノ人間ニ之ヲ割當テマスル  
ト、一人當リ一箇月ニ十一圓バカリニ過ギ  
ナインデアリマス、物價ノ非常ニ低廉ナル  
時代ニ於キマシテハ、此ノ程度ニ於キマシ  
テモ生活ハサホド困難デナカッタカト思ハ  
レルノデアリマスガ、今日ハ物價ニ於キマ  
シテハ公定價格ガアリマスルガ、事實是ハ  
シイモノハ公定價格ノ五倍十倍ニ上ルモ

ノデアリマス、ソレカラ其ノ次ハ軍事費ニアリマスルガ、軍事費モ當面ハ豫備費共ニ加ヘマシテ大變ナ巨額ニ達シテ居リマス、殊ニ其ノ豫備費モ相當ナル我々會ツテ經驗ノナイヤウナ巨額デアリマスルガ、戰爭ト云フモノハ一方的ノモノデハナイノデアリマス、敵ノ出方如何ニ依ッテ我モ之ニ對應スル所ノ態勢ヲ整へナケレバナラナイノデアリマス、元來豫算ト云フモノハ其ノ當時ニ於テ見透シ得ル範圍内ニ於テ見積ラレタモノデアリマス、處ガ戰爭ニナリマスルト、相手ノ出方如何ニ依リマシテ如何ニ之ニ對スル方策ヤ態度ヲ變更シナケレバナラヌカト云フ不測チ事柄ガ發生スルト云フコトハ、是ハ何人モ豫期シ得ルコトデアリマス、ソレ故ニ豫算ヲ編成スル場合ニ於キマシテハ、勿論物資トカ労力其ノ他ノ點ヲ考慮致シマシテ、消化ヲ爲シ得ベキ確實ナル程度ニ於テ見積ルノガ當然デアリマスルガ、尤ダナル此ノ豫備費ヲ計上致シマシテ、何時デモ國債ノ發行ヲ爲シ得ル權能ヲ政府ニ於テ持ツテ居ル必要ガ、此ノ戰時下ニ於テハ最モ私ハ其ノ必要ヲ感ズルノデアリマス、次ニ國債ノ消化ニ付キマシテ一言述ベタイトリマス、私共ハ國債ノ消化ハ決シテ前途思ヒマス、私共ハ國債ノ消化ハ決シテ前途葉ヲ極メテ強ク力説セラレタノデアリマス、如何ニモ其ノ通りデアリマス、燃ユルガ如キ國民ノ愛國心ヨリ逆ル所ノ忠誠心ニ俟ツト云フコトハ私等モ同感デアリマス、無論其ノ通りニ違ヒナインノデアリマスルケレドモ、政治ト致シマシテハ、單ニサウ云フ觀念論ニノミ拘泥致シマシテ、サウシテ安心ラ致シマシテ、公債ノ信用ヲ高

メ、國民ニ喜ンデ之ニ飛立ッテモ持ツト云フ  
ヤウナ方法ヲ何等講ジヌト云フコトヘ、政  
治トシテハ如何カト私ハ思フノデアリマ  
ス、此ノ點ニ付キマシテ特ニ政府ノ御者慮  
ヲ煩シタイト思フノデアリマス、ソレカラ  
シテモ、十九世紀時代ニ於キマシテハ戰費  
戰爭ノ進展スルニ從ヒマシテ、今後軍事費  
ハ益々膨脹スルト云フコトハ是亦疑ヒナイ  
コトデアリマスガ、昔ノ戰爭ト申シマシテ  
シテモ、十九世紀時代ニ於キマシテハ戰費  
トヲ併用致シテ居ルト云フコトデアリマシ  
テ、今後我々ハ必ズヤ其ノ増稅ト云フコト  
ヲ覺悟シナケレバナラスト思フノデアリマ  
ス、此ノ增稅ニ付キマシテ政府ニ於キマシ  
テモ、明年度ノ豫算ヲ編成スル場合ニ於テ  
其ノ時ニ適應スルヤウナ工作ヲ執ラルト  
云フコトハ、私ハ疑ハナインデアリマスケ  
レドモ、大藏省ハ過去ニ於キマシテハ、動  
モレスレバ直接稅ト間接稅トノ比例ガ接近シ  
タノハ、非常ニ財政上は賀スペキコトト  
云フヤウナ考ヲ御持チニナツテ居ラレル方  
モ多々アルヤウニ聽イテ居リマシタガ、是等  
ハ平時ニ於キマシテハ其ノ通りデアリマス、  
今ハ戰爭中デス、非常時デアリマス、サウ  
云フヤウナ權衡論ハ一擲セラレマシテ、主  
トシテ私ハ間接稅ニ重キヲ置カレルコトヲ  
希望致スノデアリマス、何トナレバ直接  
稅ナルモノハ、之ヲ得ル所ノ人ガ其ノ所得ヲ  
以テ事業ノ擴張資金等ニ振り向ケル傾向ガア  
ルノデアリマス、益々我ガ國際ノ事業ハ此ノ際  
擴張ヲシナケレバナラヌ、餘リ直接稅ニ高  
イ稅ヲ課シマシテ、事業資金迄モ奪ヒ去ル  
ト云フコトハ、是ハ實ニ慎シムベキコトト  
思フノデアリマス、又一般ニ曾テ持タザル

者ガ懷ガ豐ニナリマスト云フト、物資慾ガ  
茲ニ擡頭致シマシテ、自分ガ欲シトイ思ツテ  
美望致シテ居リマシタモノヲ、價格ヲ問ハ  
ズ之ヲ買取ルト云フヤウナコトハ現ニ行ハ  
レテ居リマス、是ハ人情ノ免レヌ所デアリ  
マシテ、強ヒ咎メル必要ハナイノデアリ  
マスルケレドモ、是等ノ人々ノ收入ハ今日  
少カラズ増加ヲ致シテ居リマス、ソレ故  
ニ動モスレバ浪費ニ走ルト云フヤウナ傾  
向ガ十分認メラレルノデアリマスカラ、今  
後増稅計畫ヲ立テラル、場合ニ於キマシテ  
ハ、ヨク／＼當時ノ事情ヲ直感セラレマシ  
テ、政治ハ現實デアルト云フ立場ニ立チマ  
シテ、直接稅ニ依ルニシロ、又間接稅ニ依  
ルニセヨ、餘り無理ノナイ、世間ノ非難ノ  
ナイ適當ナル良案ヲ樹立セラレムコトヲ希  
望致シマスル次第デアリマス、次ニ昨年ノ  
直接稅ノ增徵ニ依リマシテ、課稅負擔ハ相  
當上ヅテ居ルノデアリマス、其ノ課稅ノ査定  
ニ當リマシテ爬羅剔抉、重箱ノ隅ヲホジク  
ルヤウナコトハ努メテ避ケラマシテ、餘  
リ苛酷ニ瓦ラヌヤウナ態度ニ出ヅルベク部  
下ニ十分ニ注意ヲ促サレムコトヲ希望致シ  
マス、ソレト同時ニ收稅吏諸君ハ其ノ激務  
ニ比シマシテ待遇ガ甚グ薄イト云フコトデ  
アリマス、好イ待遇ヲ與フルニ非ザレバ優  
秀ナル人ヲ揃ヘルト云フコトハ困難デア  
リマス、殊ニ近來ハ人が非常ニ少クシテ、  
少シク能アル人ハ各方面カラ引拔カレルト  
云フ有様デアリマシテ、收稅吏中ニ於キマ  
シテモ相當役ニ立ツ人ハ外ニ轉出スル人ガ  
多々アリトシナイカト云フコトヲ憂ヘマス  
ルノデ、出來得ル限り其ノ待遇ヲ改善セラ  
レルコトヲ希望致ス次第ゴザイマス、右

ル意見ノ一端ヲ述べマシテ、茲ニ私ノ賛成ノ意見ヲ表明致シマス  
○男爵東郷安君 私ハ既ニ御述ニナリマシ  
タ各自位ト同ジク、本案全部ニ賛成ヲ致スモ  
ノデアリマス、今日迄本委員會ニ於テ質疑  
應答ヲ承リマシタ際ニ、一、二氣付イタコト  
ガアリマスカラ、此ノ際更見トシテ申述ベ  
テ置キタイト存ジマス、第一ハ、先般來大  
藏大臣ガ貴衆兩院ニ於テ特ニ強調シテ居ラ  
レル、決戦態勢下ニ於ケル財政運用ノ目標、  
指導方針、本委員會ニ於テハ去ル二月十八  
日第二回ノ委員會ニ於ケル劈頭ニ於テ、大  
河内子爵ノ質問ニ對シテ答ヘテ居ラレル、  
所謂日本ハ今後勝タネバナラナイ、絕對ニ勝  
タナケレバナラナイ、斯ウ云フコトニ付テ  
縷々申述べラレタノデアリマス、此ノ信念  
此ノ迫力ニ付テハ、我々ハ無條件ニ賛成ノ  
意ヲ表シ、敢テ追隨シタイト存ジテ居ル次  
第デアリマス、ケレドモ申ス迄モナク、今次  
ノ國際戰局ノ將來ハ、所謂極メテ複雜怪奇  
ナモノデアツテ、絕對ノ勝利或ハ敗北ト云フ  
コトガアリ得ルカドウカト云フコトハ、識  
者ノ間ニ既ニ種々議論サレテ居ル所デアッ  
テ、場合ニ依ツテハ、勝利デモナク、敗北デ  
モナイ、其ノ間ニ、非常ニ範圍ノ廣イ種々  
ナ場合、日本ニ取ツテ必ズシモ有利デナイ場  
合モ考ヘラレルノデアリマス、即チ俗ナ言  
葉デ言ヘバ勝敗何レトモ決ゼズ、グズヽ  
ニ終ル、サウシテソレガ非常ニ長イ時間  
ガ掛ル、又或說ニハ、來年ニデモナレバ  
雙方トモ物資缺乏シテ停戦ノ已ムナキニ至  
ルノデハナイカト云フ説迄モ流布サレテ居  
ル譯デアリマス、其ノ間ニ處スル日本財政  
ノ運用方針ト云フモノハ、今日カラ餘程考  
ヘテ行カナケレバナラスト思フ、此ノ點ニ

付テハ、先程橋本委員ノ御説ノ中ニモ一

アルト思ヒマス、是ダケカラ見マシテモ本

點相通ズル點ガアッタ存ジマス、此ノ點ニ

サレルカト云フコトニハ、多大ノ危惧ヲ持ツ

付キマシテ我々ハ、我々ノ立場トシテ色

テ居ルノデアリマス、ノミナラズ租稅理論

バナラヌ、ソコニ私共ノ杞憂ガアルノデア

ノ面カラ此ノ點ヲ考ヘマシテモ、今回ノ増

リマス、此ノ點ニ付テハ、ドウゾ政府當局

トシテモ、今後トモ更ニ一層ノ御留意、御

研究ヲ願ハシト存ズル次第アリマス、次

ニ將來ノ財源ニ關スル問題デアリマス、即

チ戰爭ノ長期化、戰費ノ擴大ニ伴ヒマシテ、

マスルガ、今日ハ御承知ノ如ク最早金デナ

アル場合デアリマスルカラ、本委員會ニ於

テハ問題ニナリマセヌデシタガ、彼ノ最近

簇出シテ居ル國策會社、統制會社、營團等

マシテ、金ハアルケレドモ物ガ不足シテ居

アル場合デアリマスルカラ、本委員會ニ於

テハ問題ニナリマセヌデシタガ、彼ノ最近

簇出シテ居ル國策會社、統制會社、營團等

マスルガ、今日ハ御承知ノ如ク最早金デナ

出席者左ノ如シ

委員長

伯爵酒井忠正君

忠正君

副委員長

男爵東鄉基弼君

安君

公爵德川

子爵西尾忠方君

子爵梅園篤彦君

候爵井上三郎君

子爵大河内輝耕君

子爵牧野康熙君

子爵岩村

男爵益田太郎君

小倉正恒君

子爵綾小路護君

柴田善三郎君

子爵島津忠彦君

男爵岩村一木君

男爵岩村一木君

坂野鉄次郎君

男爵益田太郎君

唐澤俊樹君

安宅彌吉君

男爵倉富鈴君

松本勝太郎君

野村徳七君

男爵倉富鈴君

橋本辰二郎君

岩田三史君

男爵倉富鈴君

中島徳太郎君

中野敏雄君

男爵倉富鈴君

松本勝太郎君

坂野鉄次郎君

男爵倉富鈴君

唐澤俊樹君

安宅彌吉君

男爵倉富鈴君

松本勝太郎君

野村徳七君

男爵倉富鈴君

橋本辰二郎君

岩田三史君

男爵倉富鈴君

中島徳太郎君

中野敏雄君

男爵倉富鈴君

松本勝太郎君

坂野鉄次郎君

男爵倉富鈴君

唐澤俊樹君

安宅彌吉君

男爵倉富鈴君

松本勝太郎君

中島徳太郎君

男爵倉富鈴君

橋本辰二郎君

岩田三史君

男爵倉富鈴君

松本勝太郎君

中野敏雄君

男爵倉富鈴君

中島徳太郎君

坂野鉄次郎君

男爵倉富鈴君

橋本辰二郎君

岩田三史君

男爵倉富鈴君

松本勝太郎君

中野敏雄君

男爵倉富鈴君

中島徳太郎君

坂野鉄次郎君

男爵倉富鈴君

橋本辰二郎君

岩田三史君

男爵倉富鈴君

松本勝太郎君

中野敏雄君

男爵倉富鈴君

中島徳太郎君

坂野鉄次郎君

男爵倉富鈴君

橋本辰二郎君

岩田三史君

男爵倉富鈴君

松本勝太郎君

中野敏雄君

男爵倉富鈴君

中島徳太郎君

坂野鉄次郎君

男爵倉富鈴君

橋本辰二郎君

岩田三史君

男爵倉富鈴君

松本勝太郎君

中野敏雄君

男爵倉富鈴君

中島徳太郎君

坂野鉄次郎君

男爵倉富鈴君

橋本辰二郎君

岩田三史君

男爵倉富鈴君

松本勝太郎君

中野敏雄君

男爵倉富鈴君

中島徳太郎君

坂野鉄次郎君

男爵倉富鈴君

橋本辰二郎君

岩田三史君

男爵倉富鈴君

松本勝太郎君

中野敏雄君

男爵倉富鈴君

中島徳太郎君

坂野鉄次郎君